

避難者アンケート調査 集計結果

令和元年9月

山形県広域支援対策本部避難者支援班

I 調査の概要	
1 調査の目的	－ 1 －
2 調査項目	－ 1 －
3 調査設計	－ 1 －
II 調査結果	
【回答者について】	
回答者の性別、年齢、避難先の市町村	－ 2 －
1 世帯の現状について	
(1) 避難元の県・市町村、避難の理由	－ 3 －
(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類	－ 4 －
2 山形での生活について	
(1) 「困っていること、不安なこと」について	－ 7 －
(2) 生活資金について	－ 8 －
(3) 避難者支援に関する情報の入手について	－ 9 －
3 今後の生活について	
(1) 今後の予定について	－11－
(2) 避難期間の見通しと帰還について	－12－
(3) 山形県内への定住について	－14－
4 心身の健康について	
(1) 心身の不調について	－18－
(2) 健康の相談相手について	－19－
(3) 心身の健康に関する要望について	－20－
(4) 福祉サービスの利用状況及び困っていることについて	－21－
5 教育や子育てについて	
(1) 教育や子育てで困っていること、不安なことについて	－22－
(2) 子育ての相談相手について	－23－
(3) 教育や子育てに関する要望について	－24－
6 高齢者の生活について	
(1) 高齢者の生活で困っていること、不安なことについて	－25－
(2) 高齢者の生活や介護の相談相手について	－26－
(3) 高齢者の生活に関する要望について	－27－
7 就業・就職について	
(1) 就業状況、転職・就職の希望について	－28－
(2) 就職に関する相談窓口について	－30－
(3) 県内の就職で困っていることについて	－31－
8 相談支援機関と相談交流について	
(1) 相談支援機関の利用状況	－32－
(2) 相談交流の参加状況	－34－
9 県内で行っている避難者支援事業について	
(1) 山形県内での支援に対する評価	－35－
(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について	－36－
(3) 県内での避難者への支援として期待するもの	－37－
(4) 今後実施してほしい避難者支援事業	－38－
10 自由記入欄	
(1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと	－39－
(2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと	－39－
(3) その他、避難生活で感じていること	－39－
III 参考資料	
アンケート調査票	

I 調査の概要

1 調査の目的

東日本大震災から8年が経過しましたが、現在も約1,800人の方々が本県での避難生活を続けています。

避難生活が長期化する中で、避難者の方々がどのようなニーズをもっているか、どのような支援を望んでいるか等を調査し、今後の避難者支援策に資することを目的として実施しました。

2 調査項目

- (1) 世帯の現状について
- (2) 山形での生活について
- (3) 今後の生活について
- (4) 心身の健康について
- (5) 教育や子育てについて
- (6) 高齢者の生活について
- (7) 就業・就職について
- (8) 相談支援機関と相談交流について
- (9) 県内で行っている避難者支援事業について

3 調査設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 東日本大震災により山形県内に避難されている613世帯
- (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
- (4) 調査期間 : 令和元年7月上旬～7月下旬
- (5) 回答数 : 156件 (回収率: 25.4%)

※参考 平成30年度は702世帯に送付し、回収は200件 (回収率28.5%)

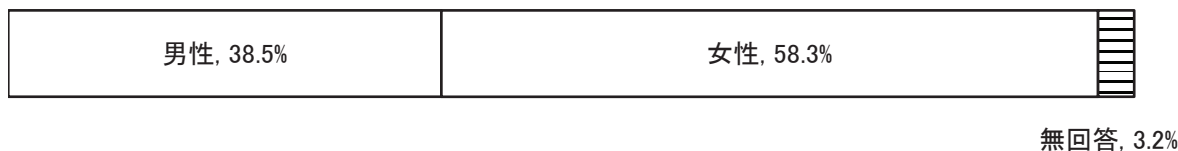
※ 注意点

- (1) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 一つの質問で回答が複数ある場合、回答率が100%を超える場合があります。

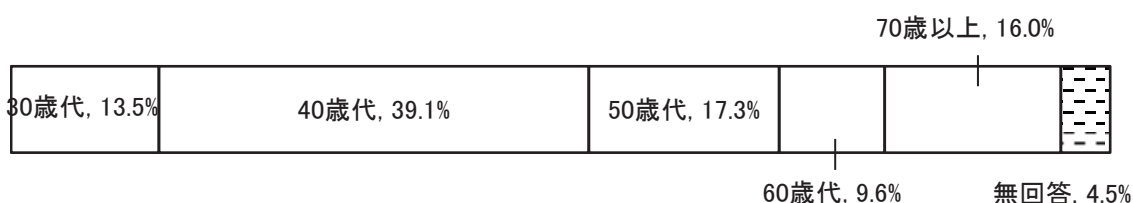
Ⅱ 調査結果

【回答者について】

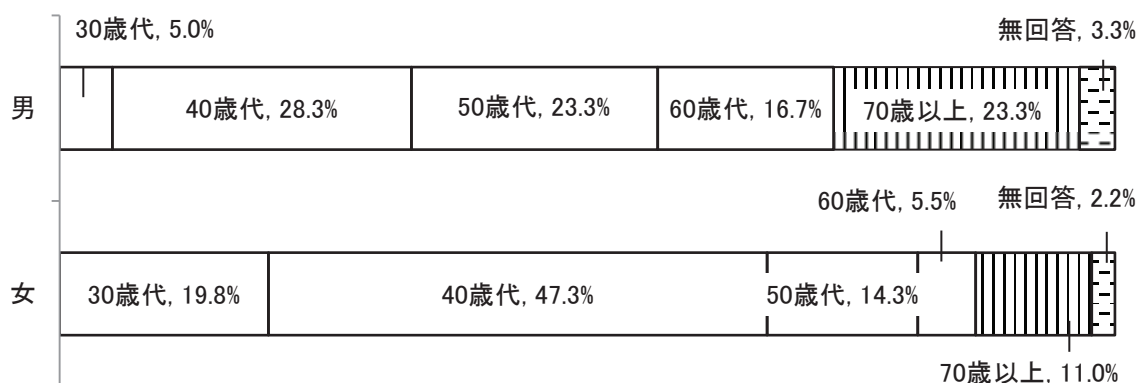
性別



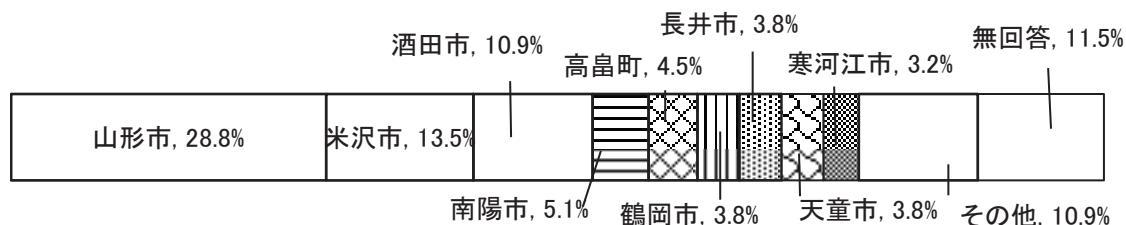
年齢



男女別年齢



避難先の市町村



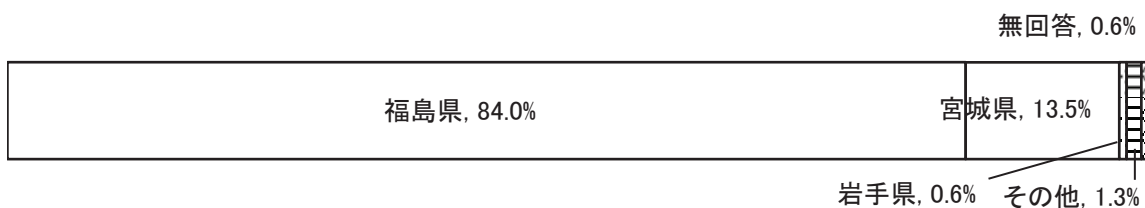
回答者の性別は、男性が 38.5%、女性が 58.3%、無回答が 3.2%となっています。

年齢別では多い順から、40 歳代 39.1%、50 歳代 17.3%、70 歳以上 16.0%で、男性は 50 歳以上が 63.3%となっており、女性は 30 歳代と 40 歳代で 67.1%となっています。

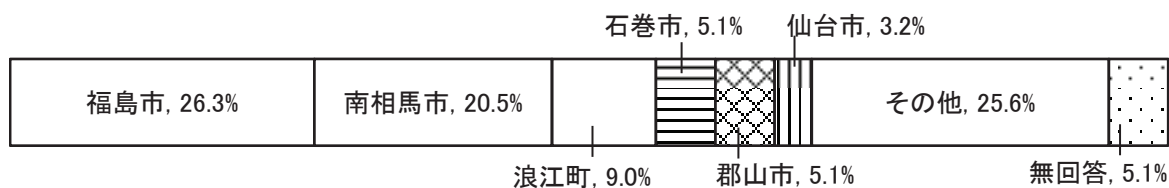
避難先の市町村は、山形市が 28.8%と最も多く、次いで米沢市、酒田市、南陽市の順となっています。

1 世帯の現状について
 (1) 避難元の県・市町村、避難の理由

避難元の県

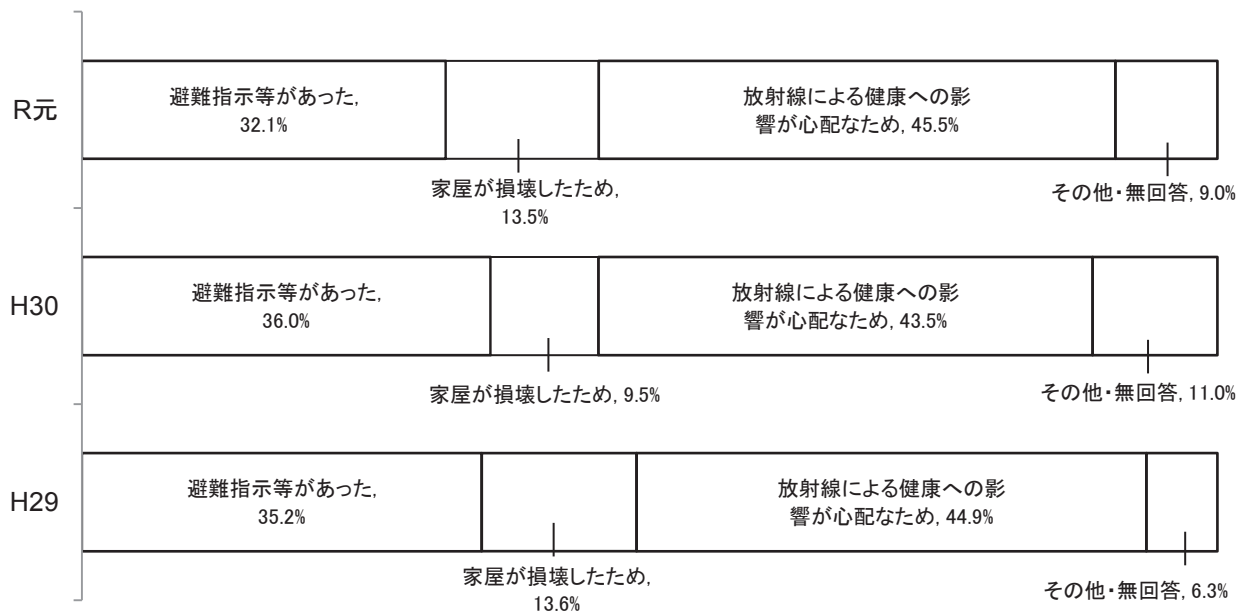


避難元の市町村



避難元については、福島県が84.0%、宮城県が13.5%でした。市町村別では、福島市、南相馬市、浪江町、石巻市、郡山市、仙台市の順となっています。

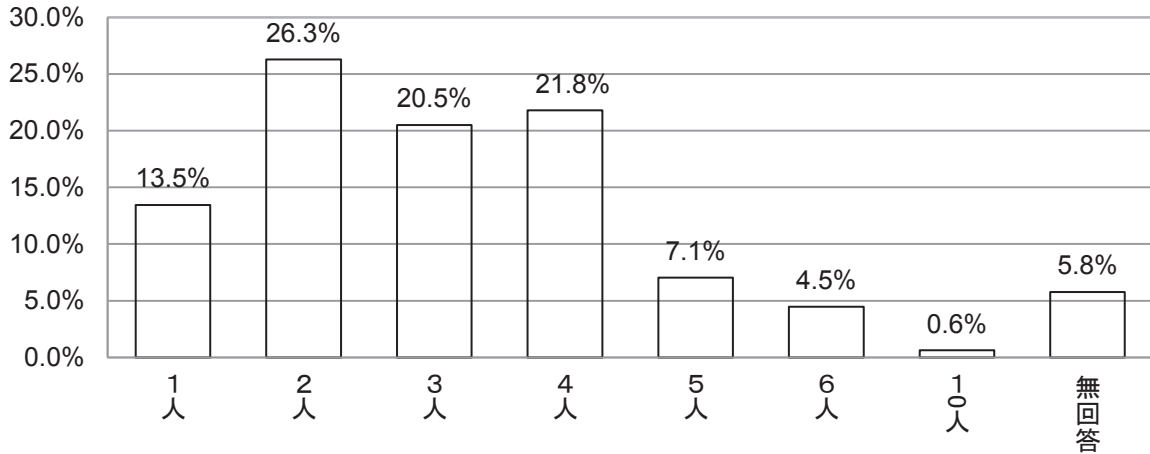
避難の理由



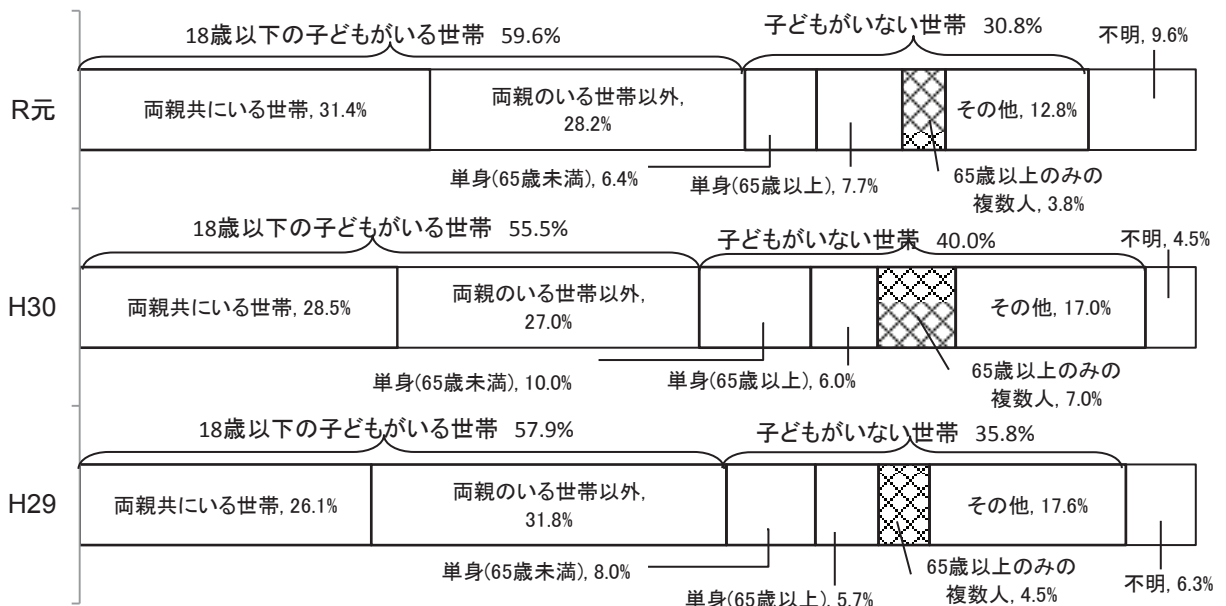
避難の理由は、「放射線による健康への影響が心配なため」が45.5%と一番多く、次いで「避難指示があった」32.1%、「家屋が損壊したため」13.5%となっています。

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類

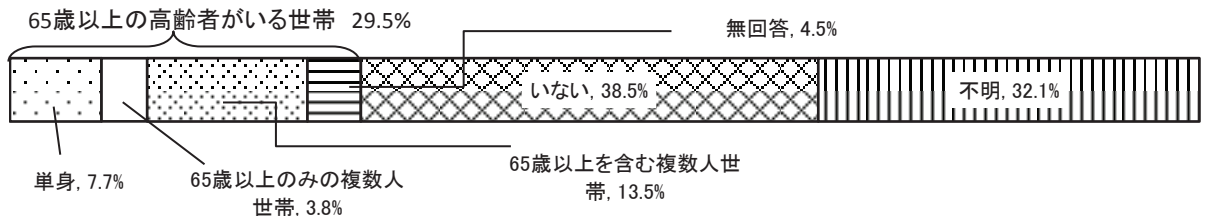
家族の人数



家族の構成



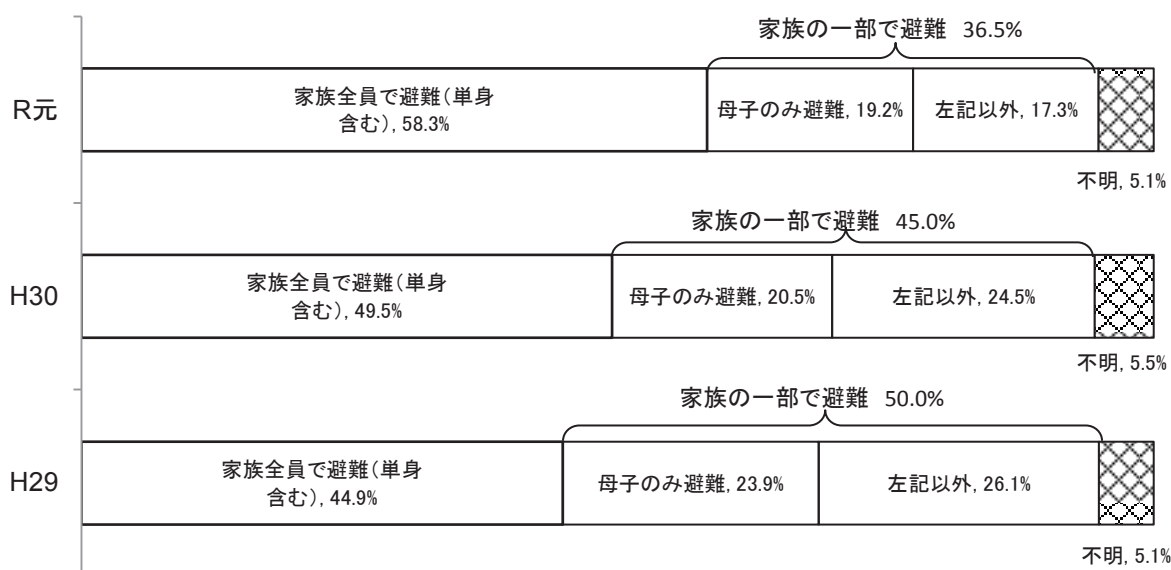
65歳以上の高齢者がいる世帯の構成



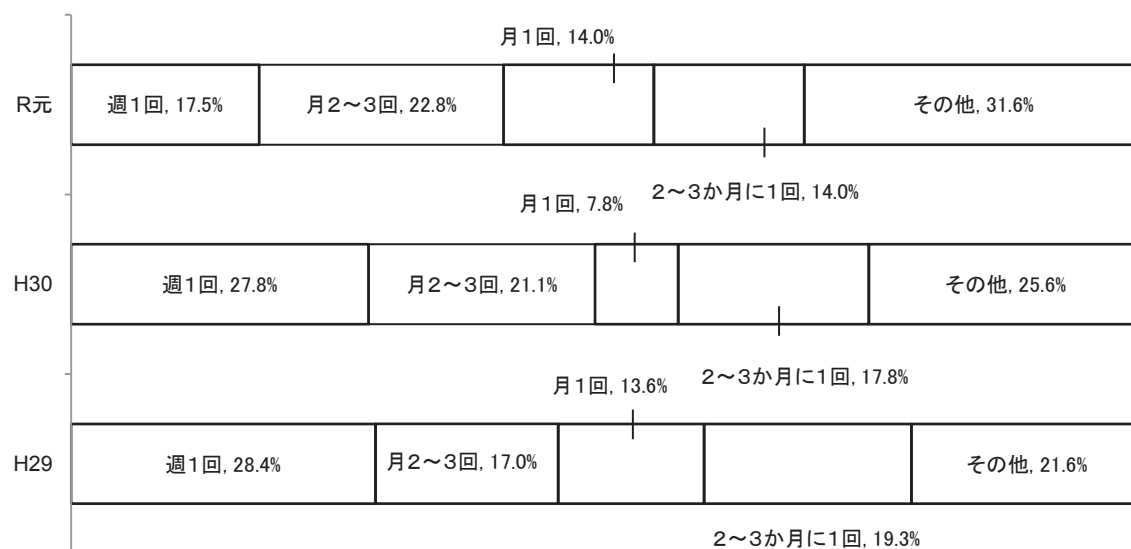
家族の構成は、子どもがいる世帯は59.6%、子どもがいない世帯は30.8%となっています。
 65歳以上の高齢者のいる世帯は、29.5%となっており、うち単身者は7.7%、65歳以上の高齢者のみの世帯は3.8%となっています。

※「65歳以上の高齢者がいる世帯の構成」は令和元年度の新規項目

避難の状況

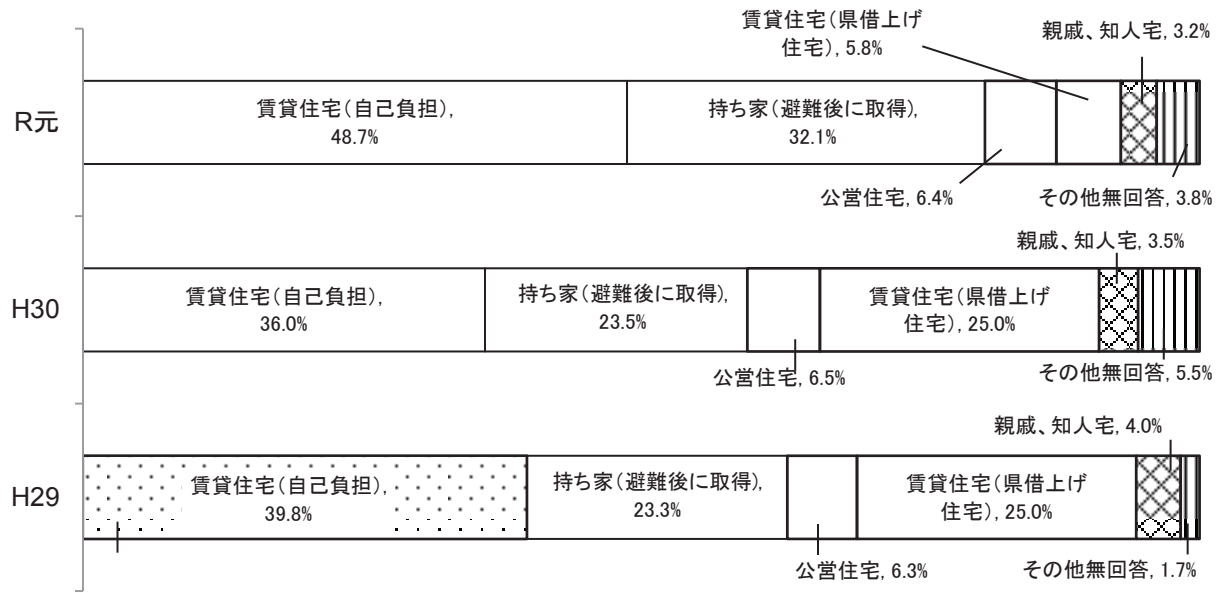


避難元の家族と会う頻度 (設問の対象者は家族の一部で避難された方)



避難の状況は、家族全員で避難している世帯が 58.3%、家族の一部で避難している世帯が 36.5%となっており、家族と離れて母子のみで避難している世帯が全体の 19.2%で、その割合は年々低下しています。

避難している住宅の種類



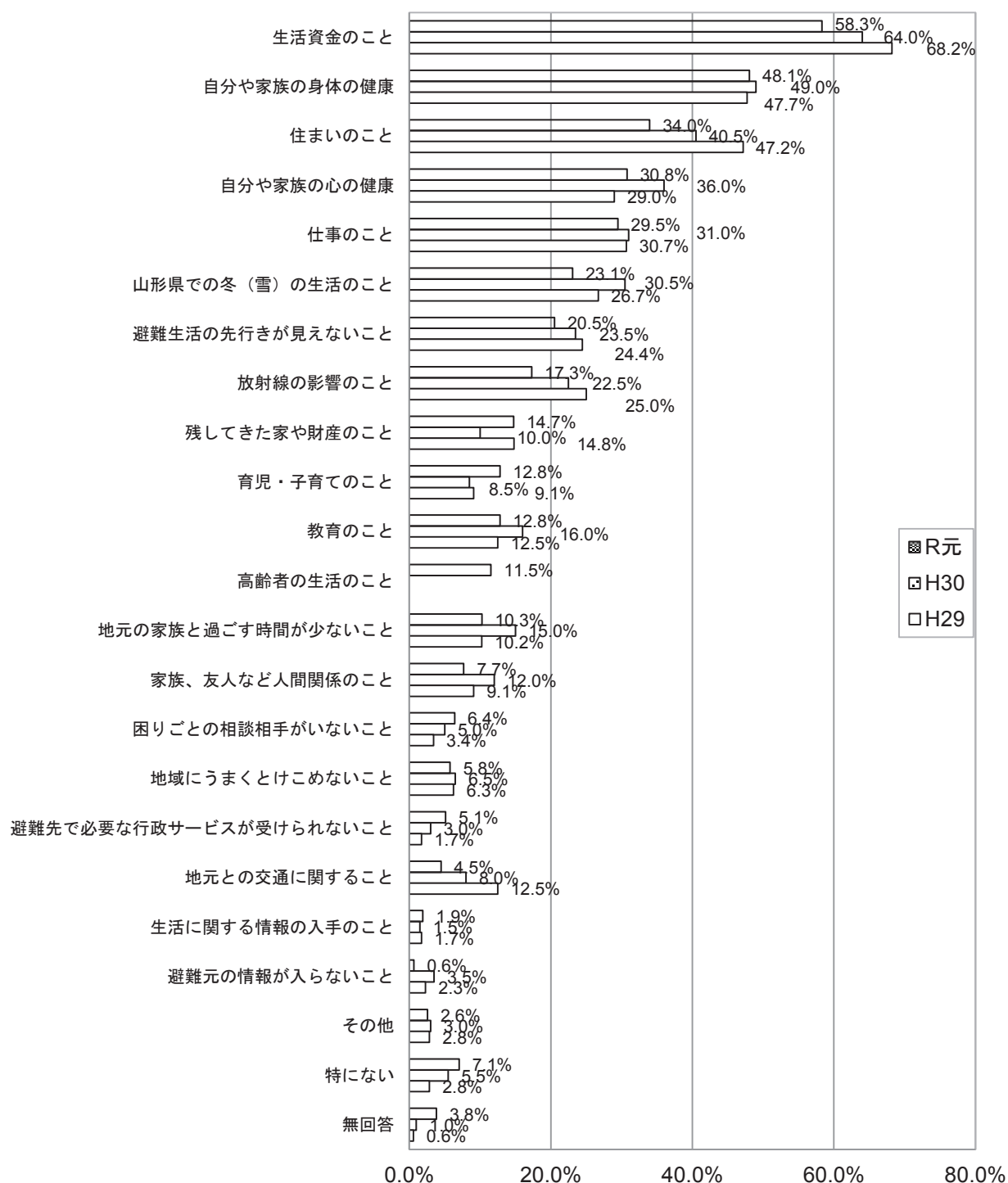
避難している住宅の種類は、「賃貸住宅（自己負担）」が48.7%、「持ち家（避難後に取得）」が32.1%、「公営住宅」が6.4%となっています。

※平成29年3月で、避難指示区域以外の避難者への借上げ住宅の供与が終了。

2 山形での生活について

(1) 「困っていること、不安なこと」について

今の生活で困っていること、不安なこと（複数回答）

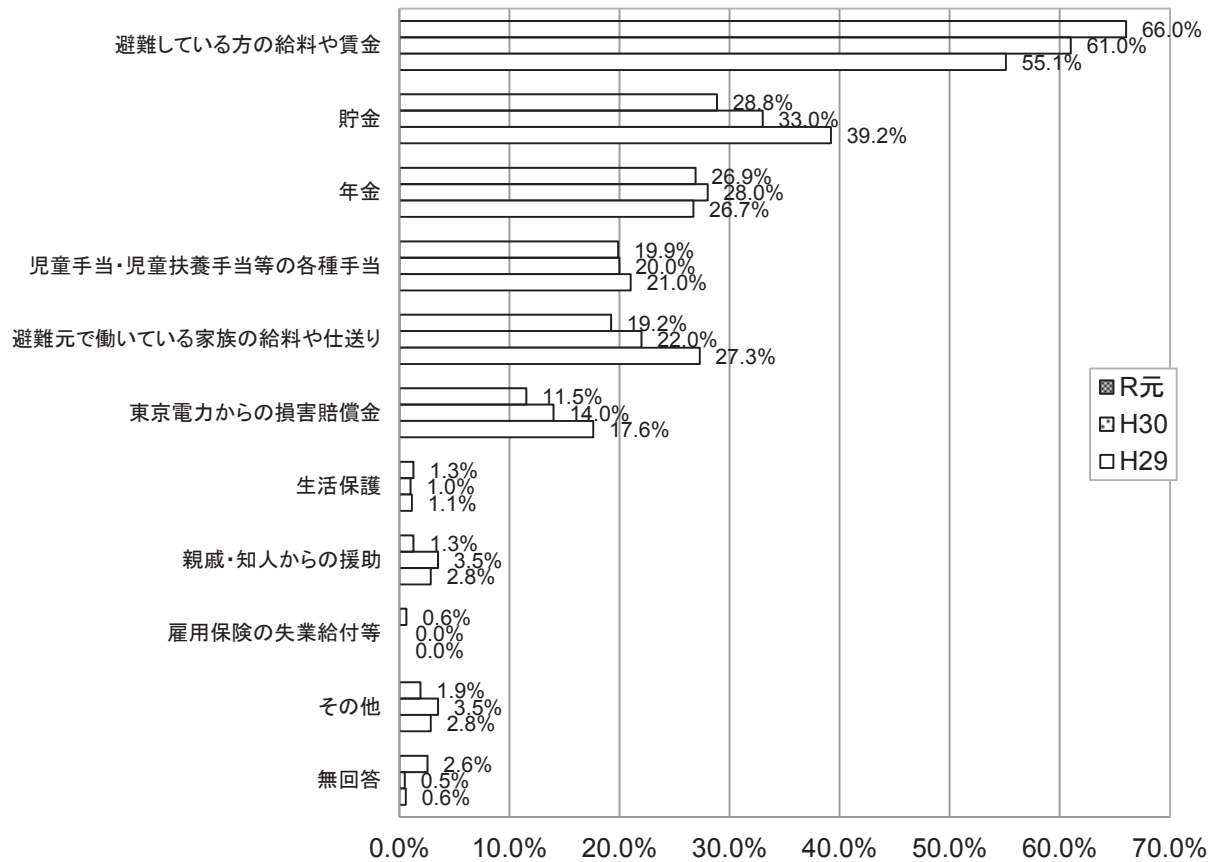


今の生活で困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が 58.3%と最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康」48.1%、「住まいのこと」34.0%の順となっています。

「生活資金のこと」、「住まいのこと」は上位であるものの、その割合は年々低下しています。

(2) 生活資金について

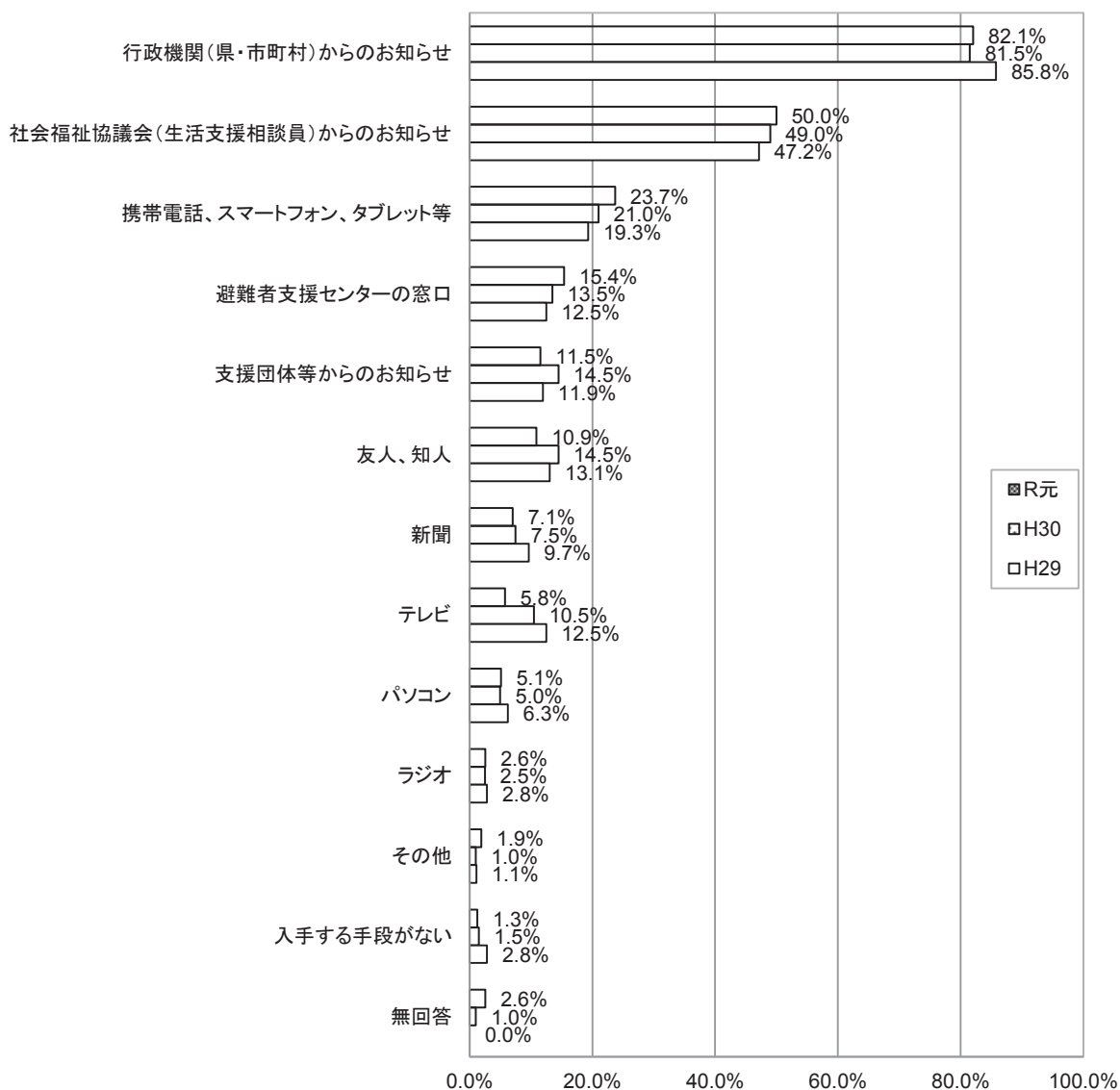
世帯の生活資金(あてはまるもの3つまで)



世帯における生活資金をどこから得ているかについては、「避難している方の給料や賃金」が66.0%と最も高く、続いて「貯金」、「年金」、「児童手当・児童扶養手当等の各種手当」、「避難元で働いている家族の給料や仕送り」、の順となっています。

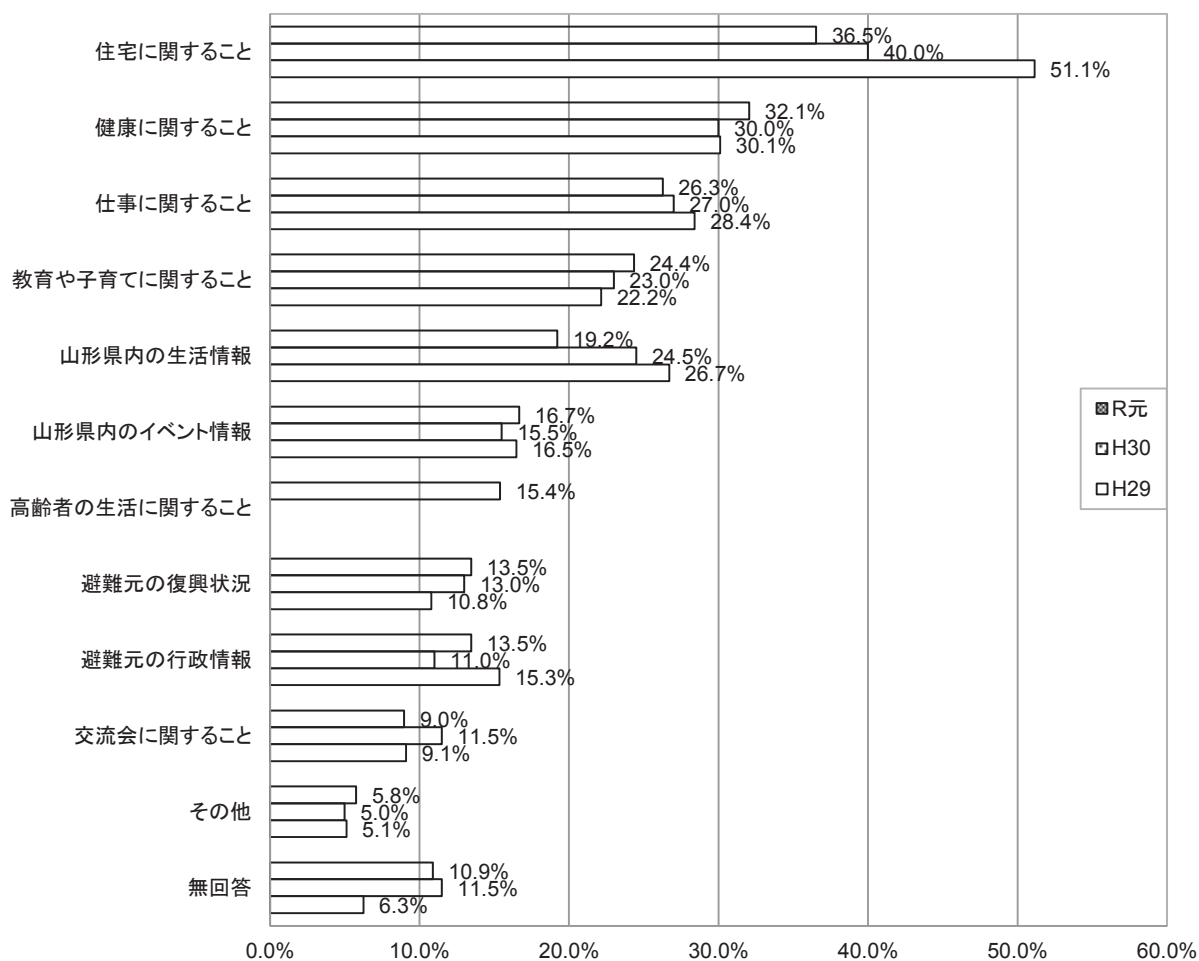
(3) 避難者支援に関する情報の入手について

避難者支援に関する情報の入手手段(複数回答)



避難者支援に関する情報の入手手段は、「行政機関(県・市町村)からのお知らせ」が82.1%と最も多く、次いで「社会福祉協議会(生活支援相談員)からのお知らせ」、「携帯電話、スマートフォン、タブレット等」、「避難者支援センターの窓口」の順となっています。

避難者支援に関する情報で希望する内容(複数回答)



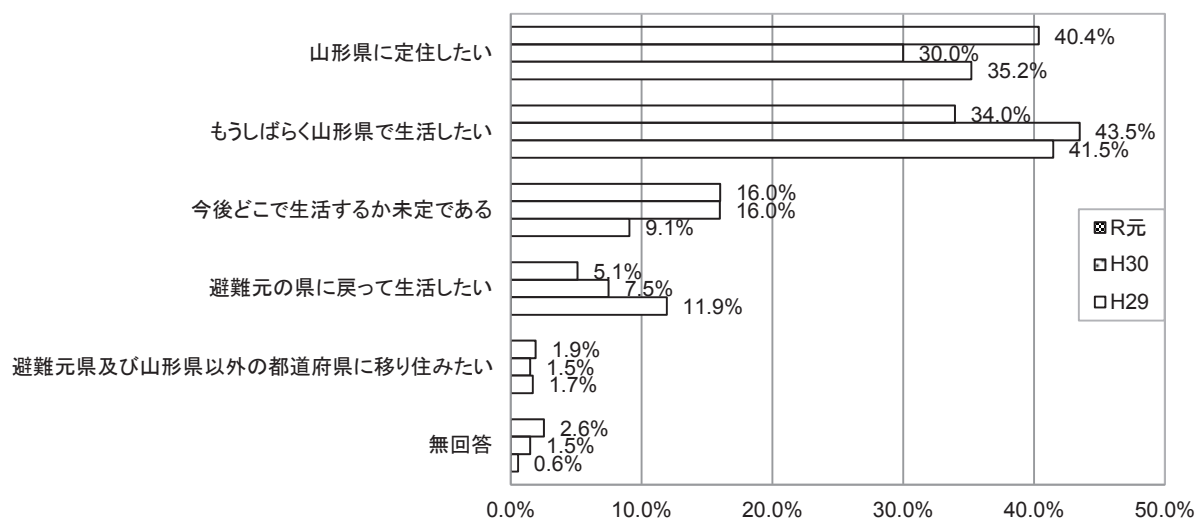
避難者支援に関する情報で希望する内容は、「住宅に関すること」が36.5%と最も高くなっているもののその割合は年々低下しています。

次いで「健康に関すること」、「仕事に関すること」、「教育や子育てに関すること」の順となっています。

※「高齢者の生活に関すること」は令和元年度の新規項目

3 今後の生活について (1) 今後の予定について

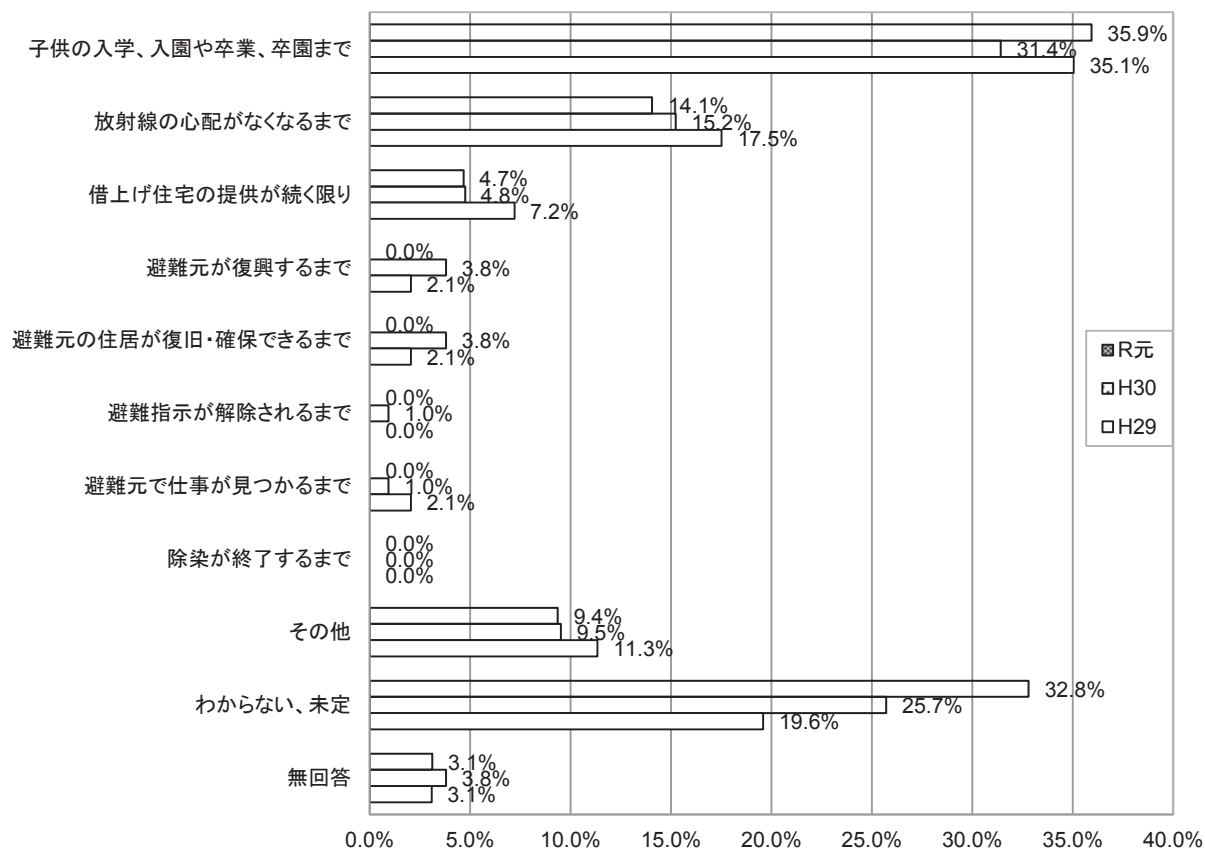
今後の予定



今後の予定について、「山形県に定住したい」が40.4%、「もうしばらく山形県で生活したい」が34.0%となっており、当面、山形での生活を続けたいと考えている方が74.4%となっています。

(2) 避難期間の見通しと帰還について

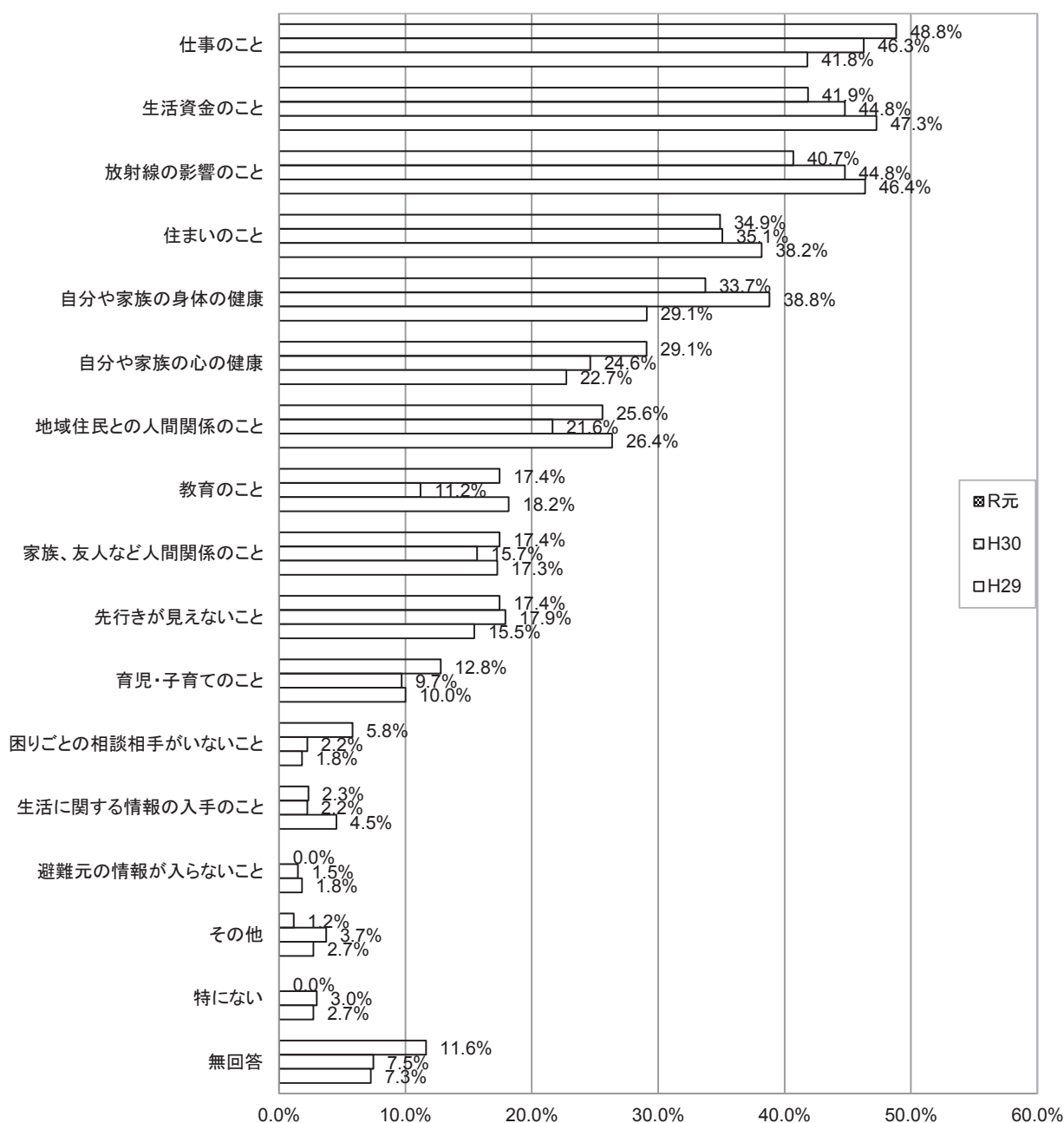
山形県内での避難期間の見通し



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方が、県内での避難生活をいつまでと考えているかについては、「子供の入学、入園や卒業、卒園まで」が 35.9%で最も多く、次いで「放射線の心配がなくなるまで」の順となっています。

また、32.8%の方が「わからない、未定」となっています。

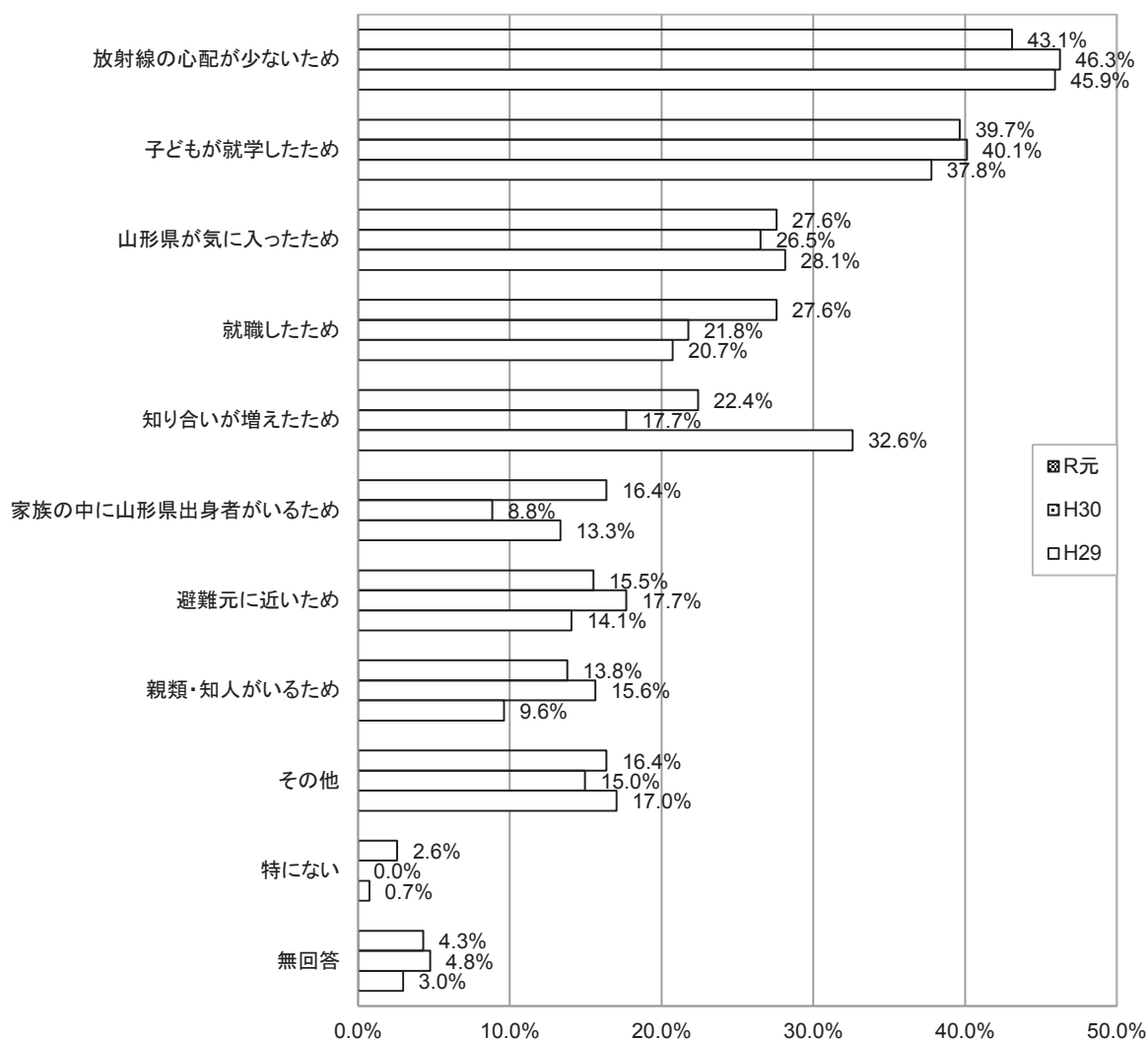
避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なこと(複数回答)



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「今後どこで生活するか未定である」と答えた方の、避難元の県へ帰還することとなった場合の心配なことは、「仕事のこと」と答えた方が 48.8%と最も多く、年々増加しています。次いで、「生活資金のこと」、「放射線の影響のこと」の順となっています。「生活資金のこと」、「放射線の影響のこと」は年々減少しています。

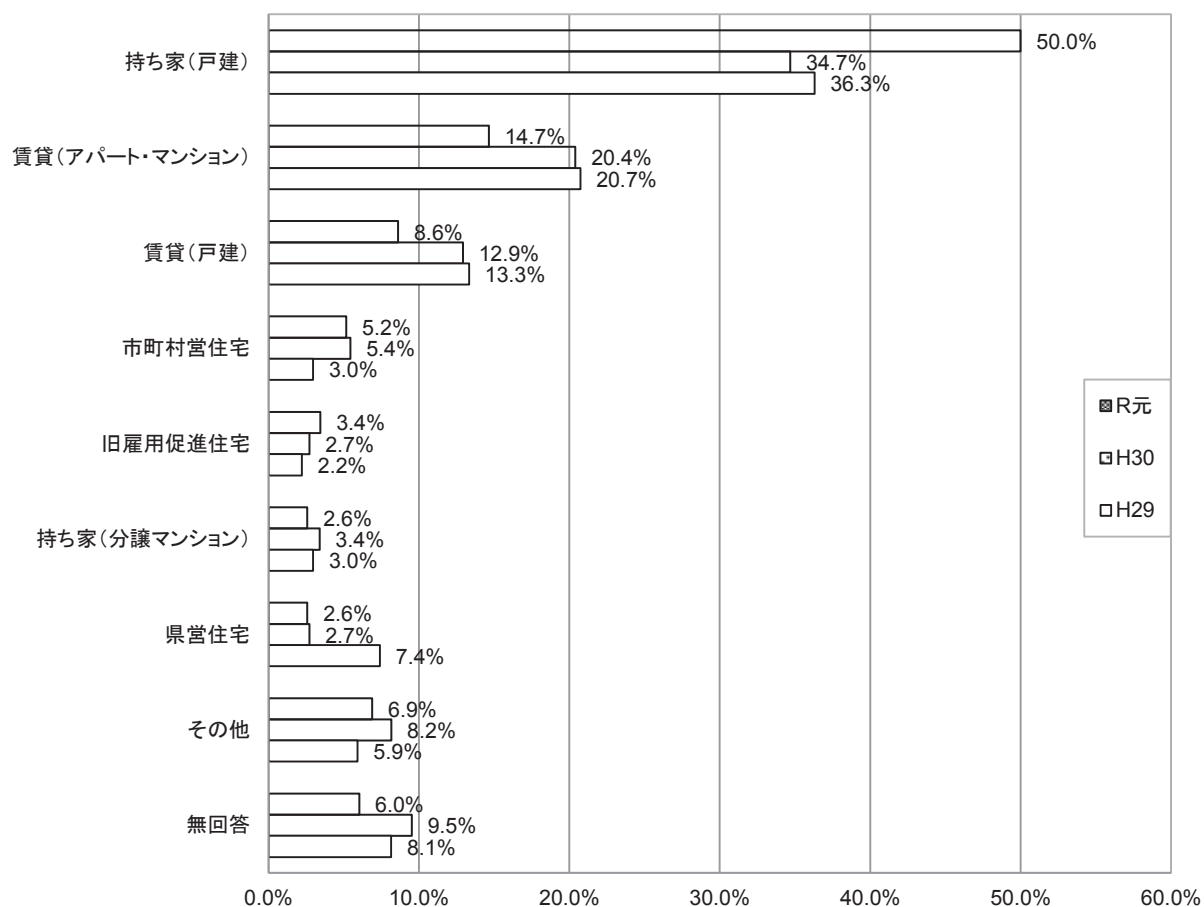
(3) 山形県内への定住について

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由
(複数回答)



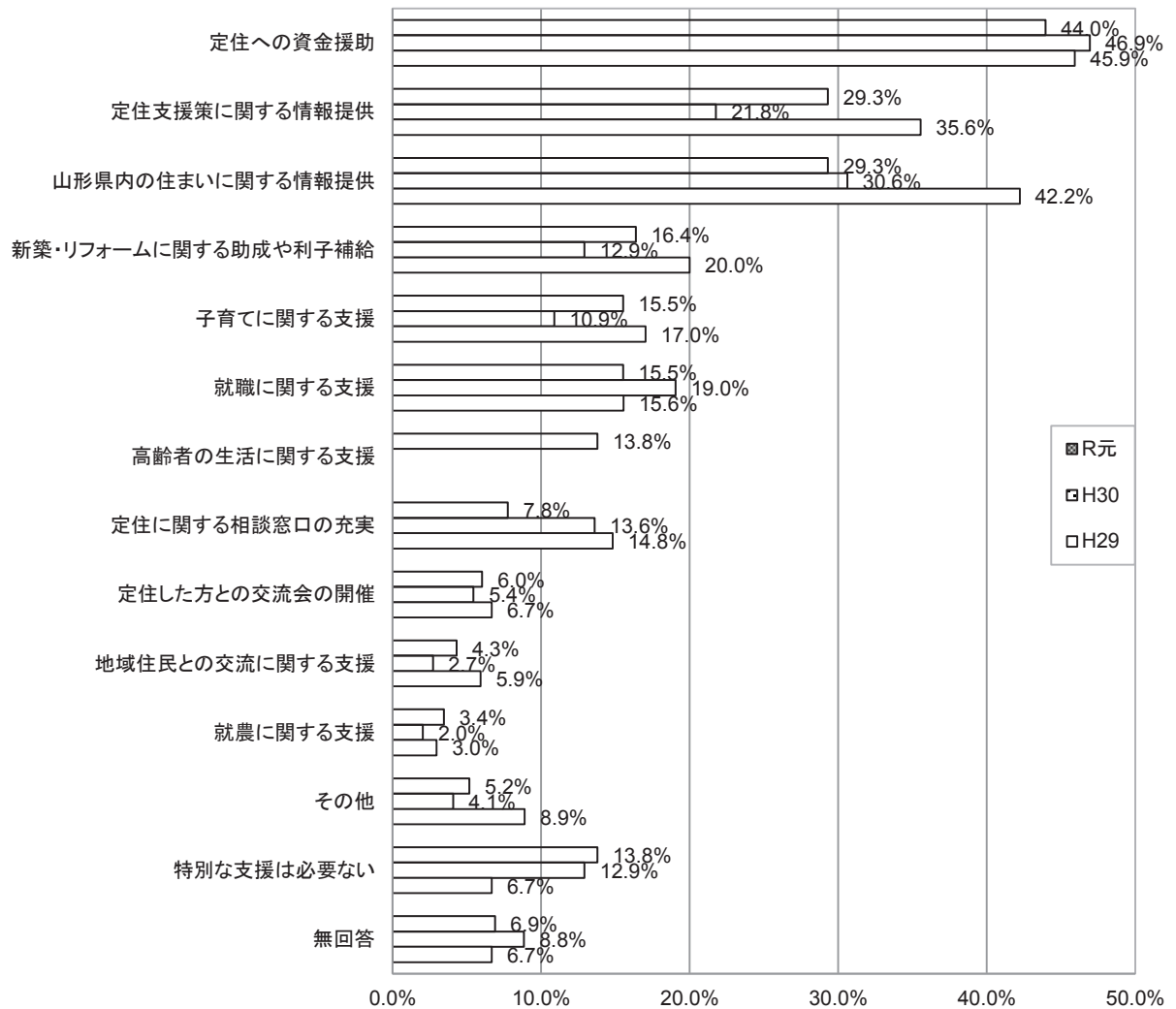
3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の理由は、「放射線の心配が少ないため」が43.1%と最も多く、次いで「子どもが就学したため」、「山形県が気に入ったため」の順となっています。

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の
希望する住居



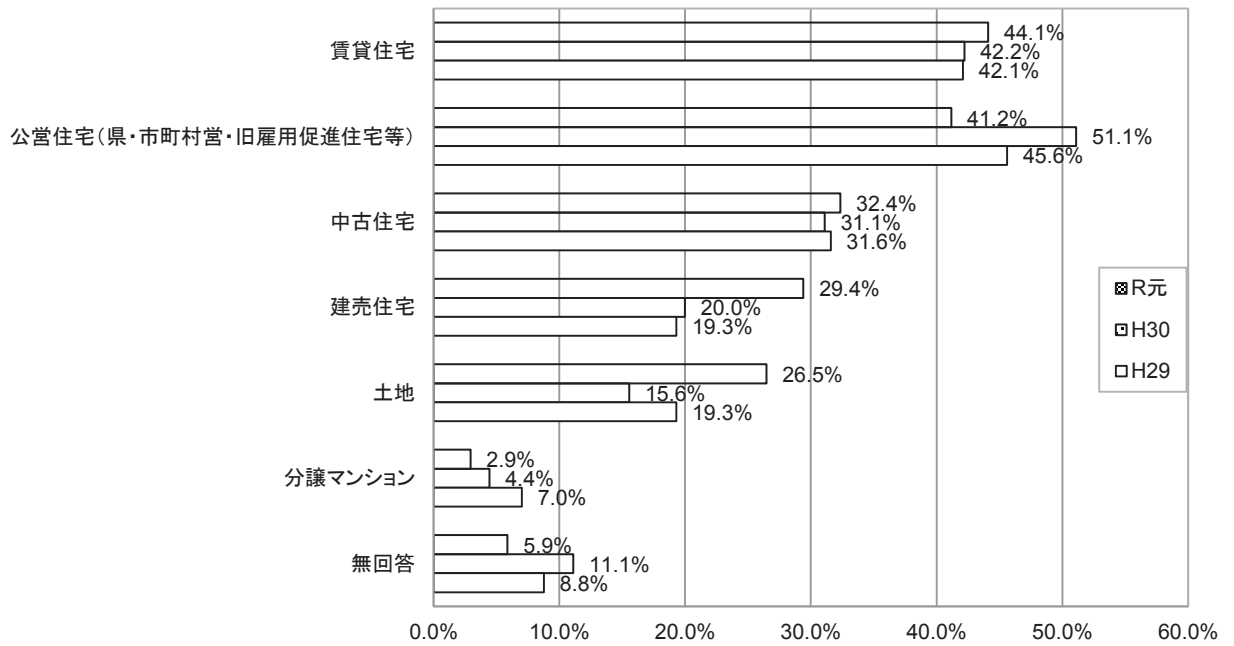
3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方が希望する住居の形態は、「持ち家(戸建)」が50.0%と最も多く、次いで「賃貸(アパート・マンション)」、「賃貸(戸建)」の順となっています。

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の
希望する支援(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の希望する支援は、「定住への資金援助」が44.0%と最も多く、次いで、「定住支援策に関する情報提供」、「山形県内の住まいに関する情報提供」が同率となっています。

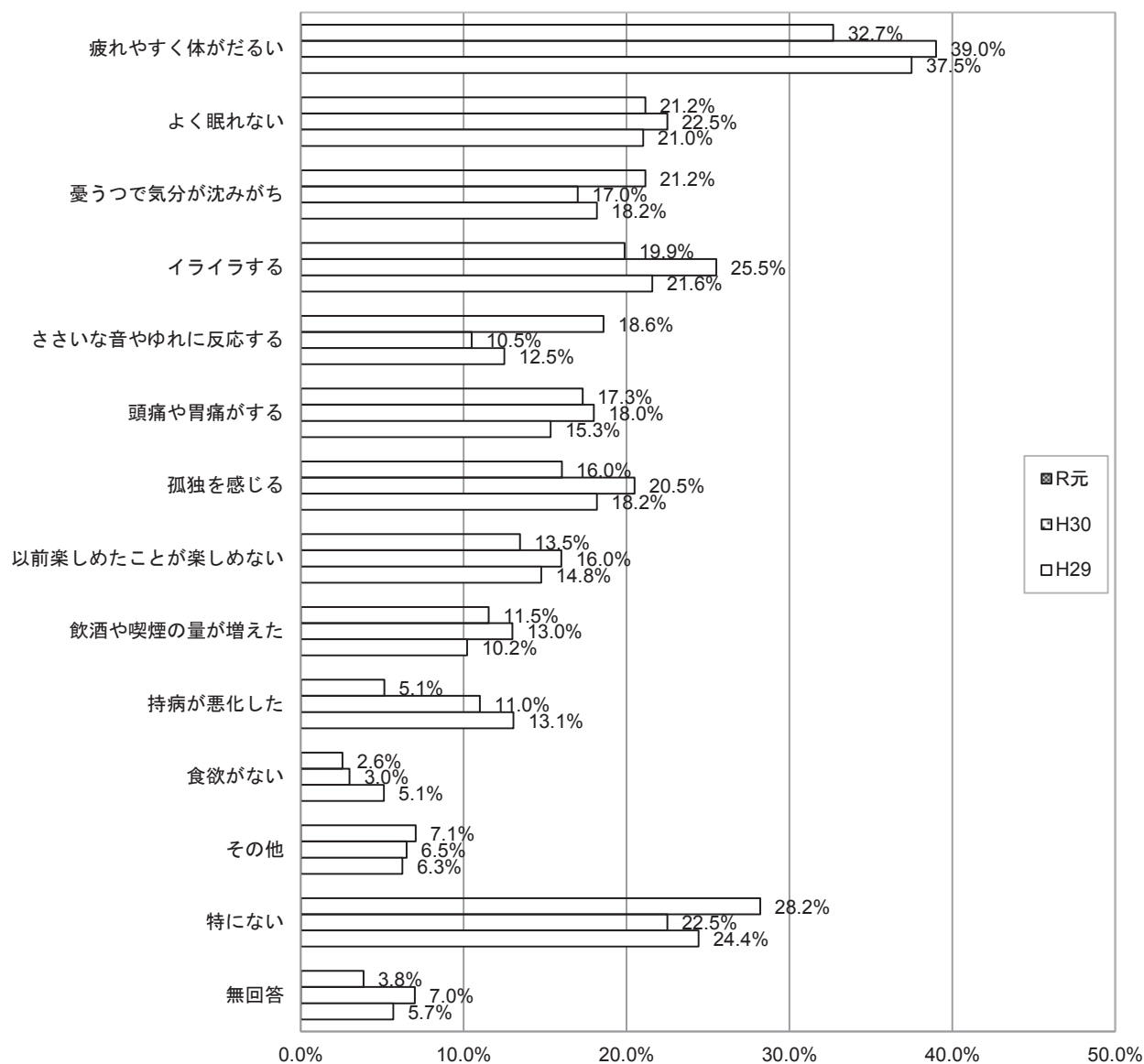
山形県内の住まいに関する必要な情報(複数回答)



上記回答で「山形県内の住まいに関する情報提供」で「※必要な情報は何か」の問いに対する回答は「賃貸住宅」が44.1%と最も多く、次いで「公営住宅」、「中古住宅」となっています。

4 心身の健康について (1) 心身の不調について

心身の不調について（複数回答）

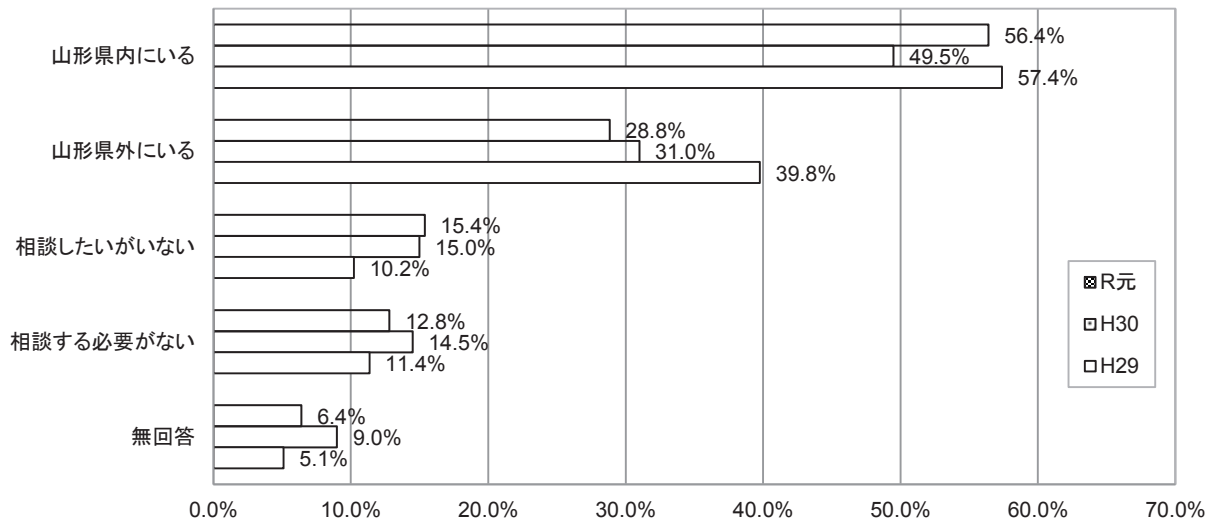


心身の不調については、「疲れやすく体がだるい」が32.7%で最も多く、次いで、「よく眠れない」、「憂うつで気分が沈みがち」となっています。

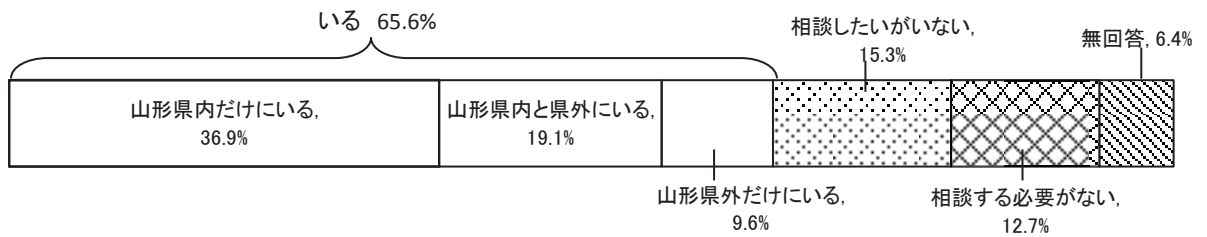
「特にない」という方の割合は28.2%にとどまっており、「無回答」3.8%と合わせても、7割弱の方は心身に何らかの不調を抱えています。

(2) 健康の相談相手について

心身の健康について相談する相手(複数回答)



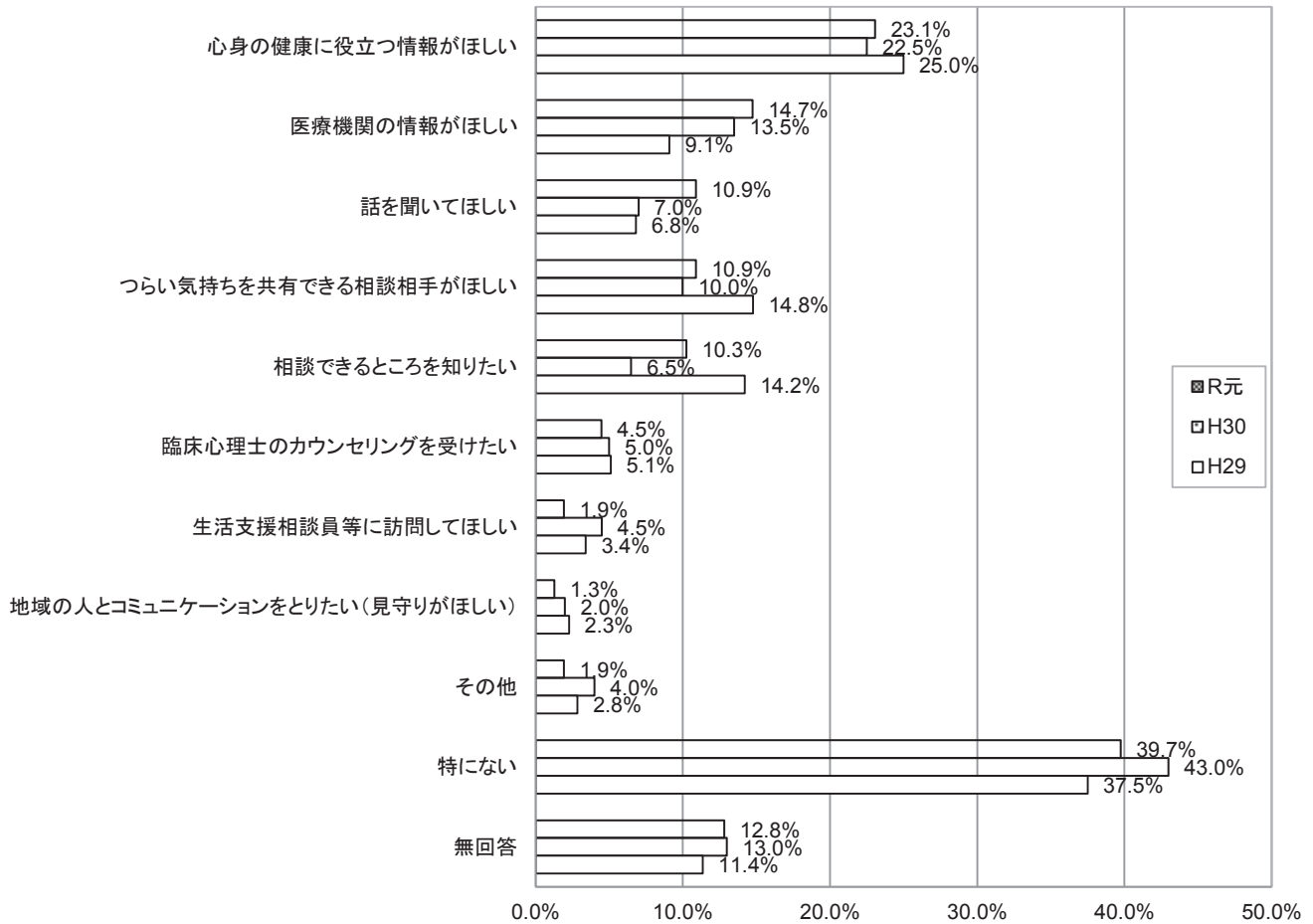
相談相手の有無・相談相手



心身の健康について、相談する相手がいるかをたずねたところ、56.4%が「山形県内にいる」、28.8%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の65.6%でした。

(3) 心身の健康に関する要望について

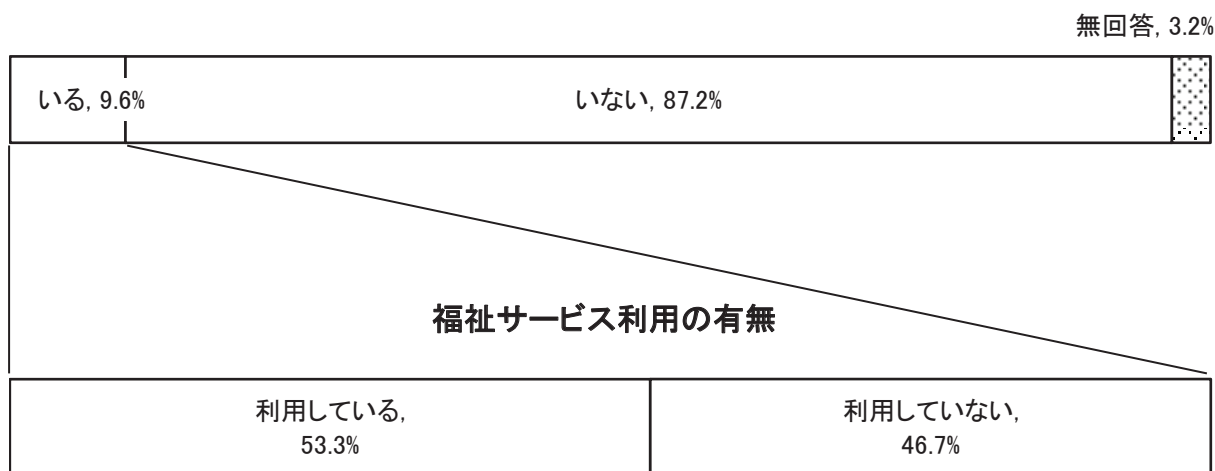
心身の健康に関して望むこと(複数回答)



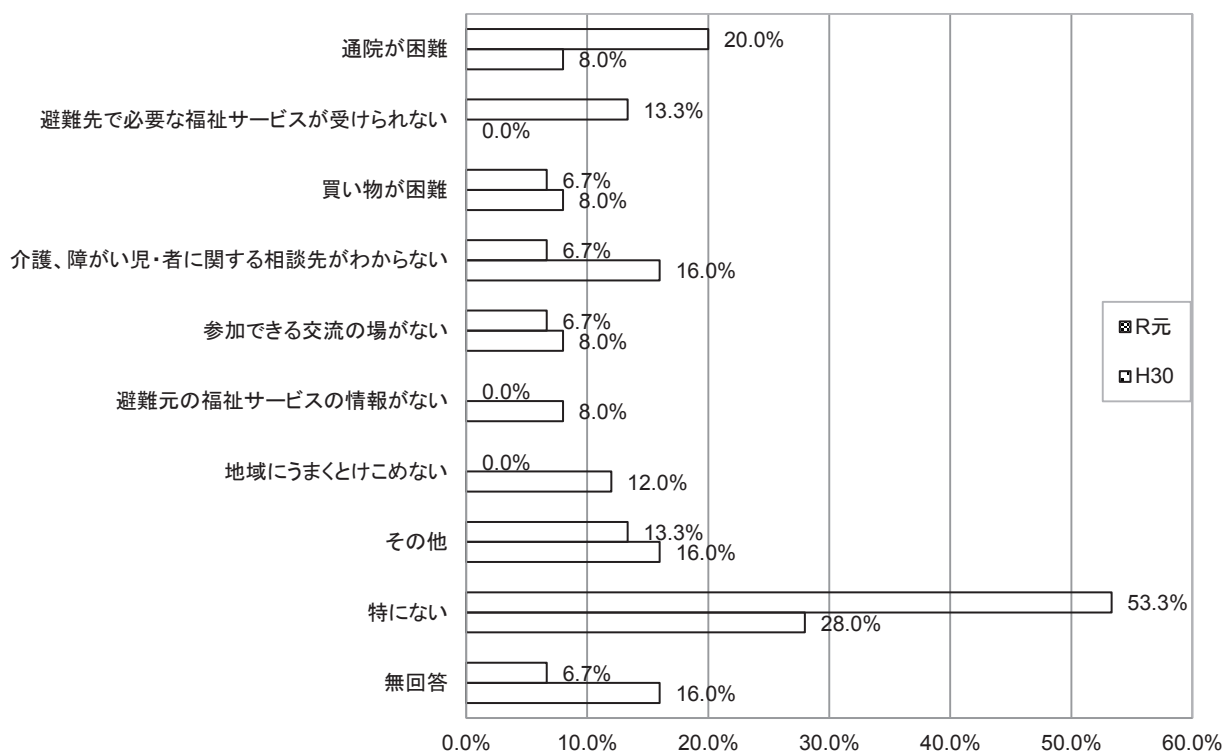
心身の健康に関して望むことは、「心身の健康に役立つ情報が欲しい」が 23.1%と最も多く、次いで「医療機関の情報が欲しい」、「話を聞いてほしい」と「つらい気持ちを共有できる相談相手が欲しい」が同率となっています。

(4) 福祉サービスの利用状況及び困っていることについて

福祉サービスが必要な方



福祉サービスが必要な方の困っていること、不安に思っていること
(複数回答)



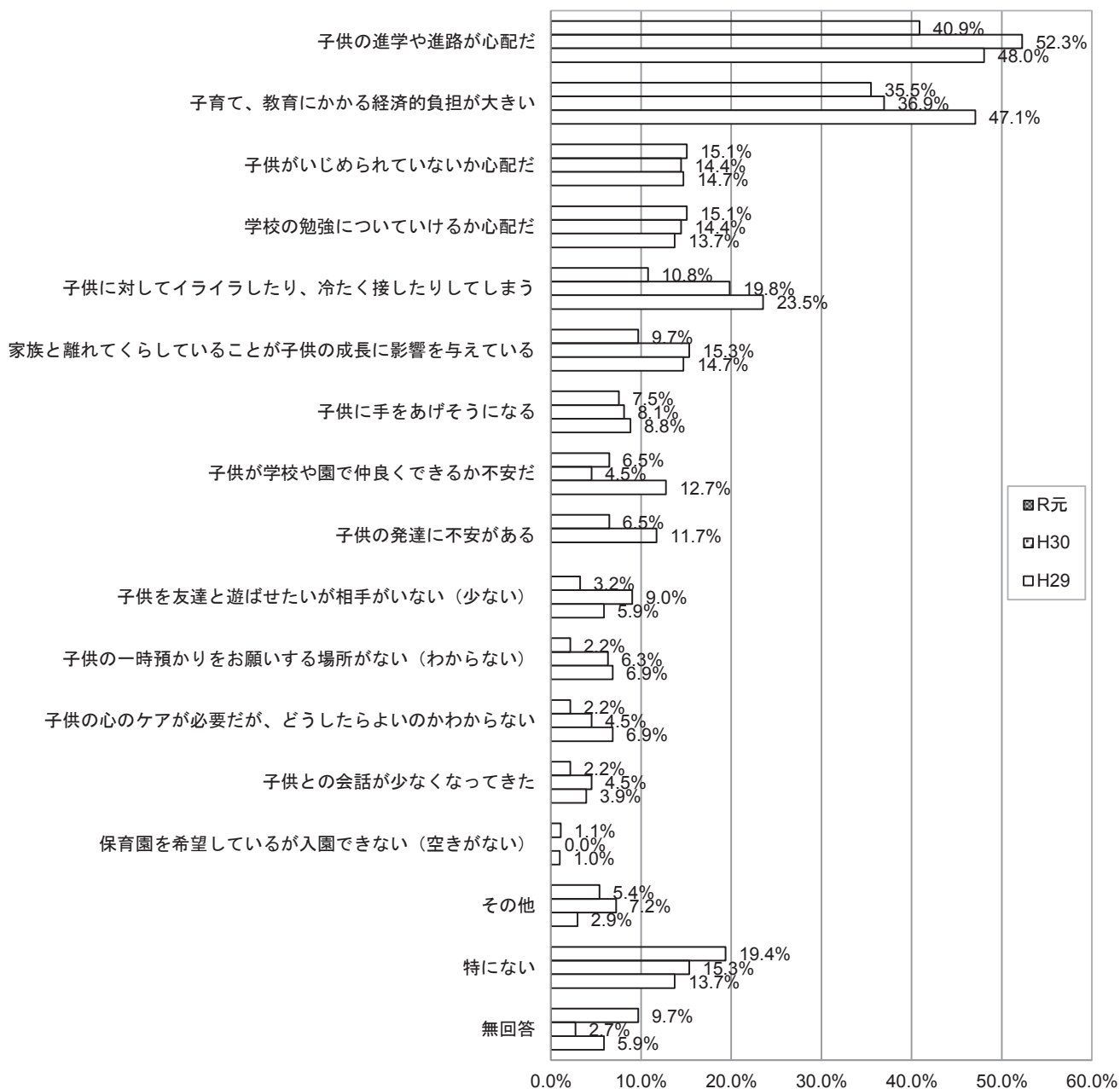
家族に福祉サービスが必要な方がいるのは全体の 9.6%で、そのうちサービスを利用しているのは 53.3%でした。困っていることや不安に思っていることは、「通院が困難」が 20.0%と最も多くなっています。

※平成 30 年度の新規項目

5 教育や子育てについて（設問の対象者は18歳以下の子どもがいる方）

（1）教育や子育てで困っていること、不安なことについて

教育や子育てで困っていること、不安なこと（複数回答）

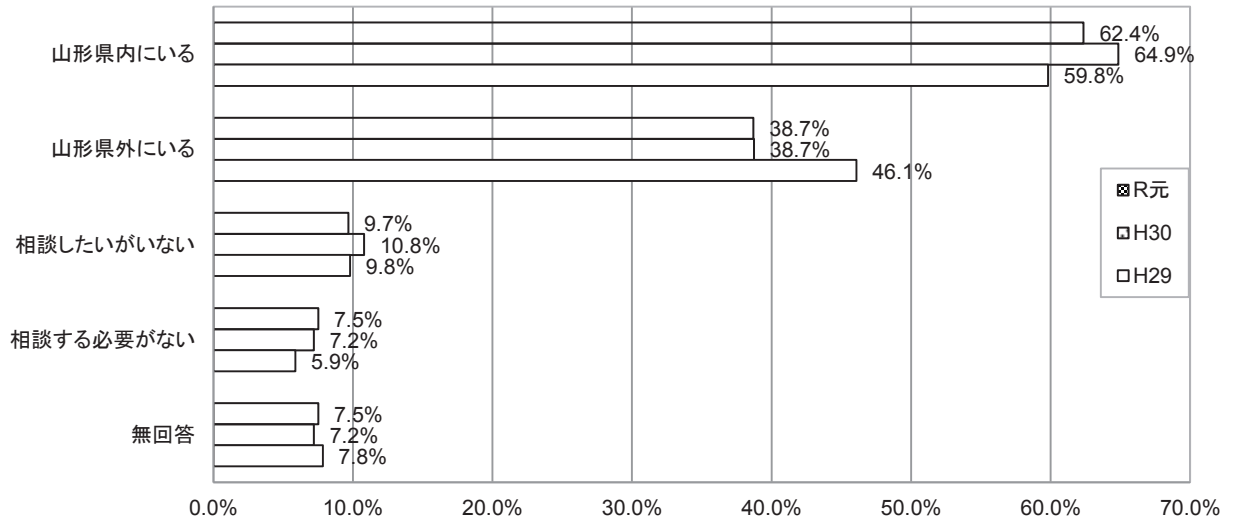


教育や子育てで困っていること、不安なことは、「子供の進学や進路が心配だ」が40.9%で最も多く、次いで「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい」が35.5%と多くなっています。

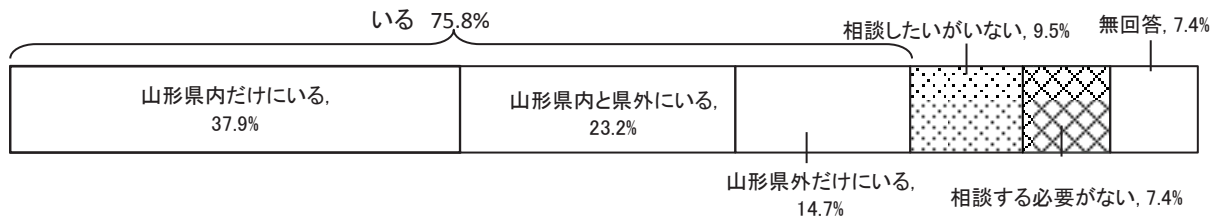
※「子どもの発達に不安がある」は平成30年度の新規項目

(2) 子育ての相談相手について

子育てについて相談する相手(複数回答)

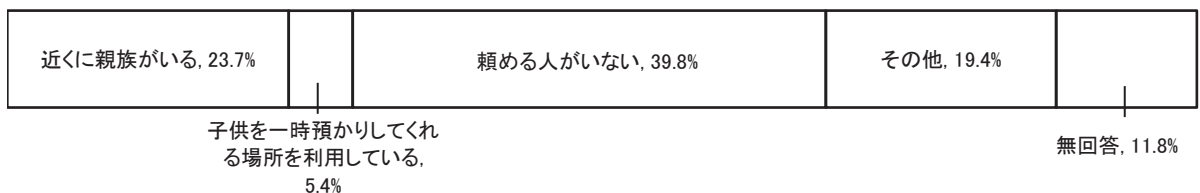


相談相手の有無・相談相手



子育てについて、相談する相手がいるかをたずねたところ、62.4%が「山形県内にいる」、38.7%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の75.8%でした。

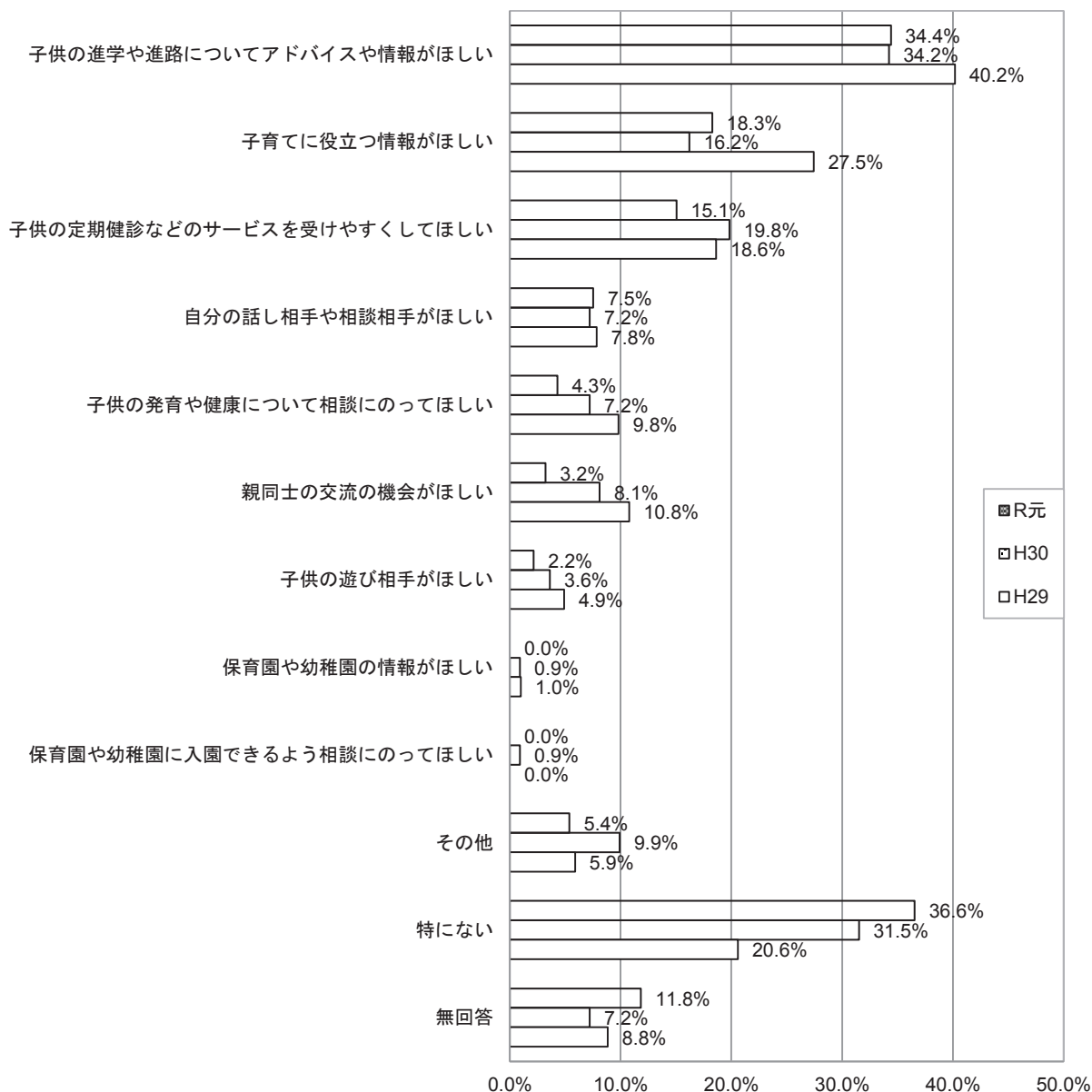
ご自身が困った時にお子さんを頼める方はいますか



お子さんを頼める方がいるかをたずねたところ、39.8%の方が「頼める人がいない」となっています。また、「子どもを一時預かりしてくれる場所を利用している」が5.4%にとどまっています。

(3) 教育や子育てに関する要望について

教育や子育てに関する要望（複数回答）

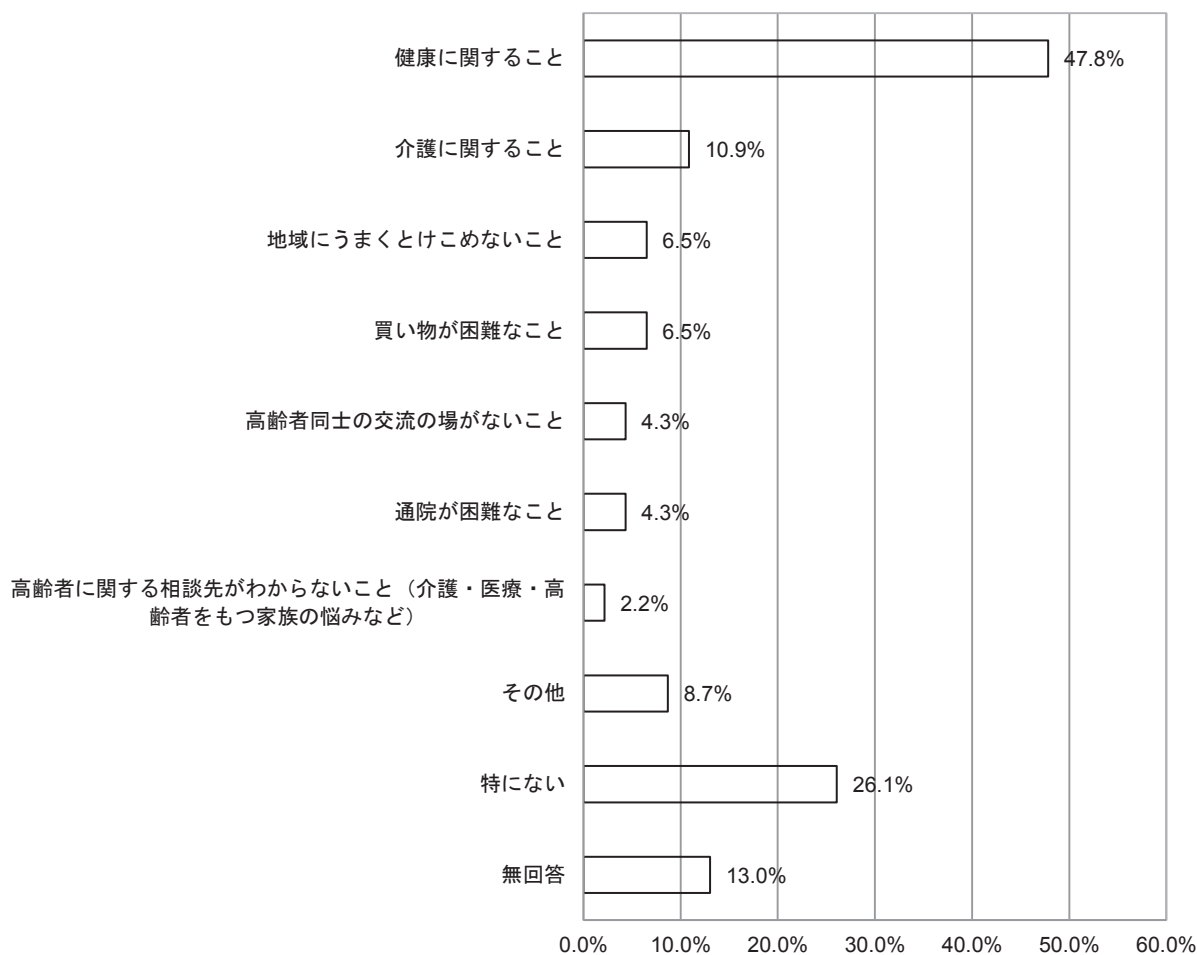


教育や子育てに関して望むことは、「子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が34.4%と最も多く、次いで「子育てに役立つ情報が欲しい」、「子供の定期健診などのサービスを受けやすくして欲しい」の順となっています。

6 高齢者の生活について（設問の対象者は65歳以上の高齢者がいる世帯の方）

（1）高齢者の生活で困っていること、不安なことについて

高齢者の生活で困っていること、不安なこと（複数回答）

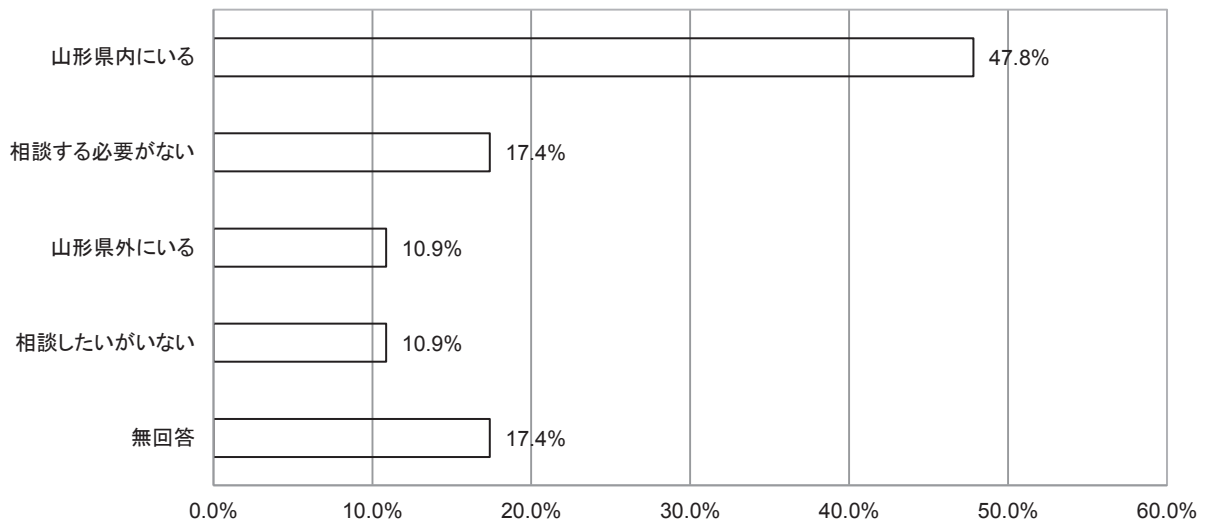


高齢者の生活で困っていること、不安なことは、「健康に関すること」が47.8%で最も多く、次いで「介護に関すること」10.9%、「地域にうまくとけこめないこと」6.5%の順となっています。

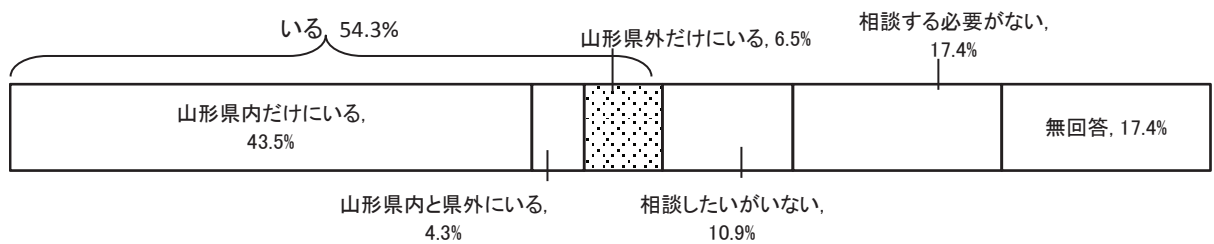
※令和元年度の新規項目

(2) 高齢者の生活や介護の相談相手について

高齢者の生活や介護に関して相談する相手(複数回答)



相談相手の有無・相談相手

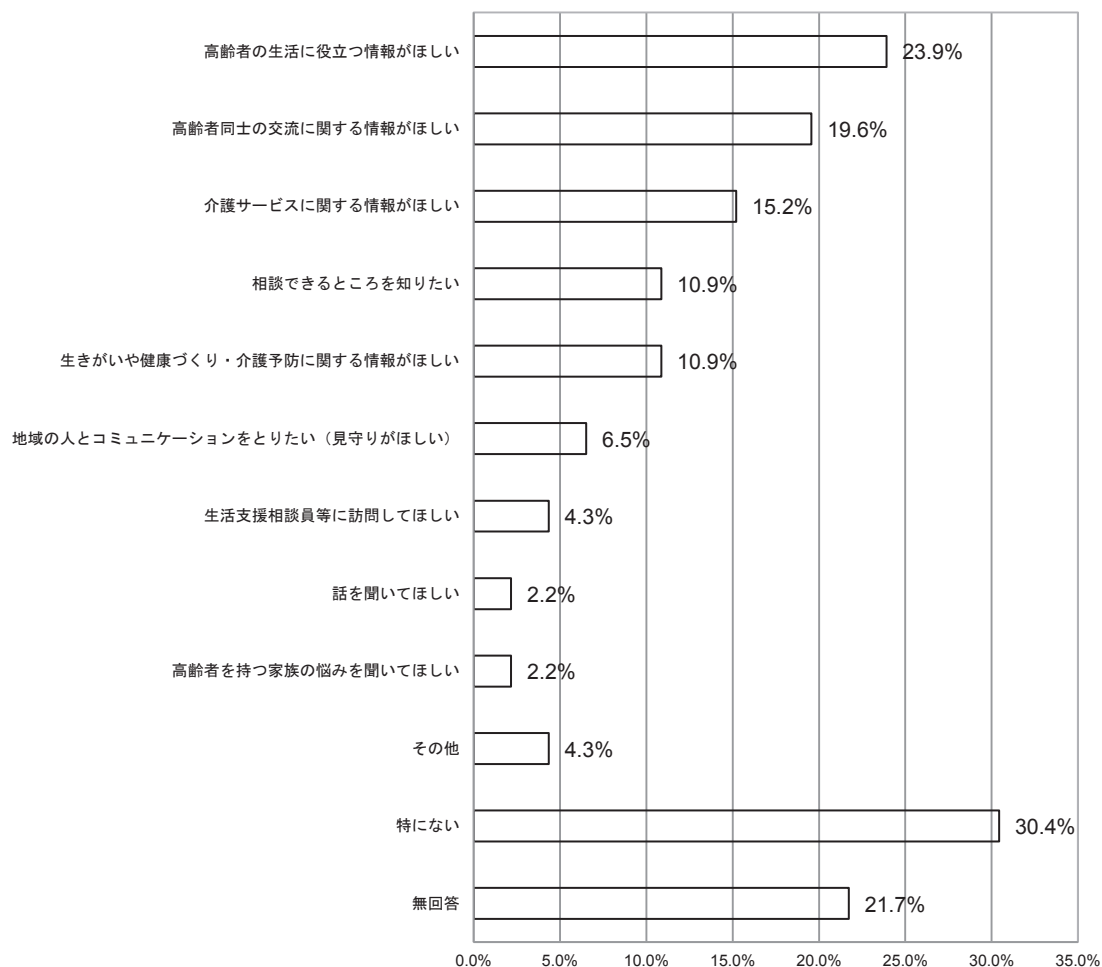


高齢者の生活や介護について、相談する相手がいるかをたずねたところ、47.8%が「山形県内にいる」、10.9%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の54.3%でした。

※令和元年度の新規項目

(3) 高齢者の生活に関する要望について

高齢者の生活に関する要望（複数回答）

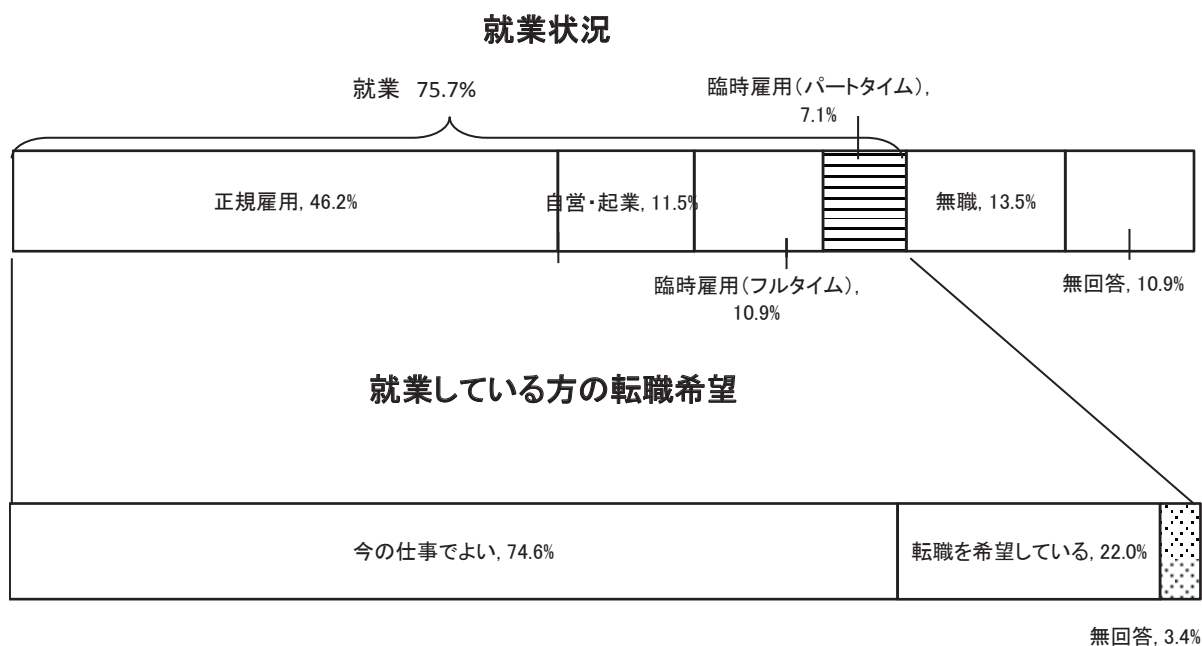


高齢者の生活に関して望むことは、「高齢者の生活に役立つ情報がほしい」が 23.9%と最も多く、次いで「高齢者同士の交流に関する情報がほしい」、「介護サービスに関する情報がほしい」の順となっています。

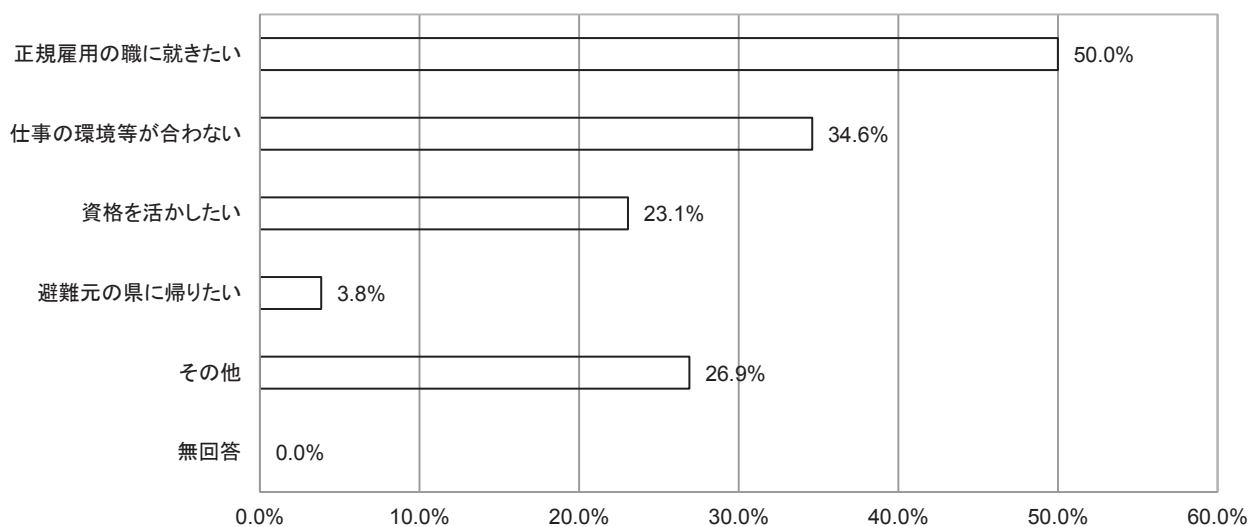
※令和元年度の新規項目

7 就業・就職について

(1) 就業状況、転職・就職の希望について

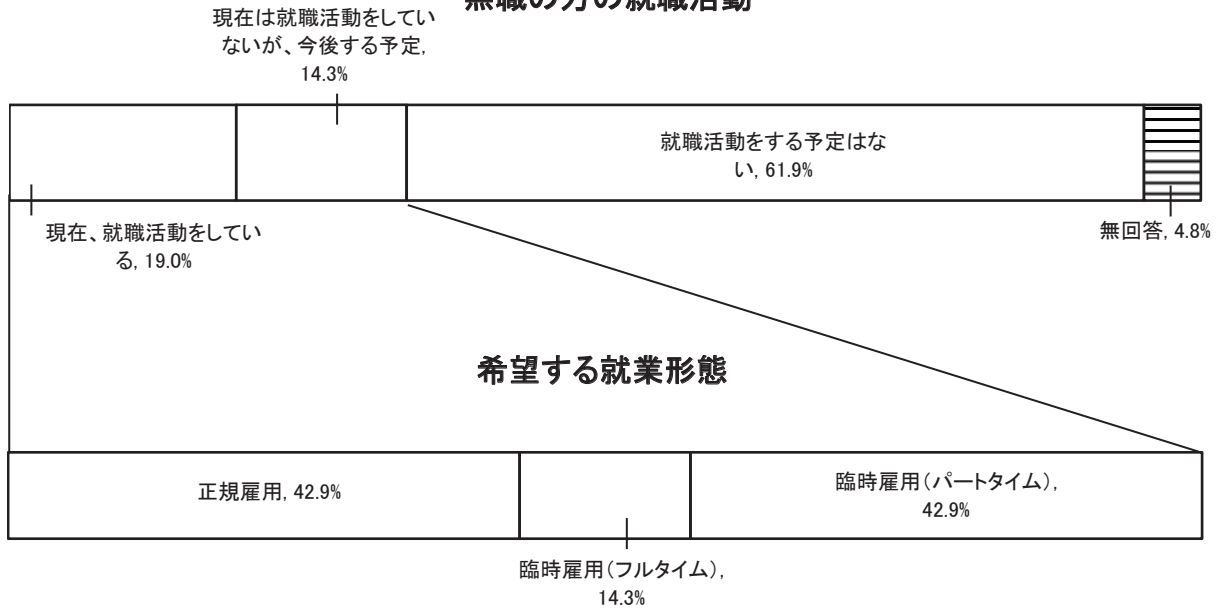


転職を希望する理由(複数回答)



主に生計を支えている方の就業状況は、全体の 75.7%が現在就業しており、無職の方は 13.5%となっております。現在就業している方で「転職を希望している」と答えた方は、22.0% となっております。その理由としては「正規雇用の職に就きたい」50.0%と最も多く、次いで「仕事の環境等が合わない」、「資格を活かしたい」となっています。

無職の方の就職活動



「現在、就職活動をしている」または「今後する予定」と答えた方は、33.3%となっており、その希望する就業形態は「正規雇用」と「臨時雇用(パートタイム)」42.9%が最も多く、次いで「臨時雇用(フルタイム)」となっています。

また、「就職活動をする予定はない」と答えた方は61.9%となっています。

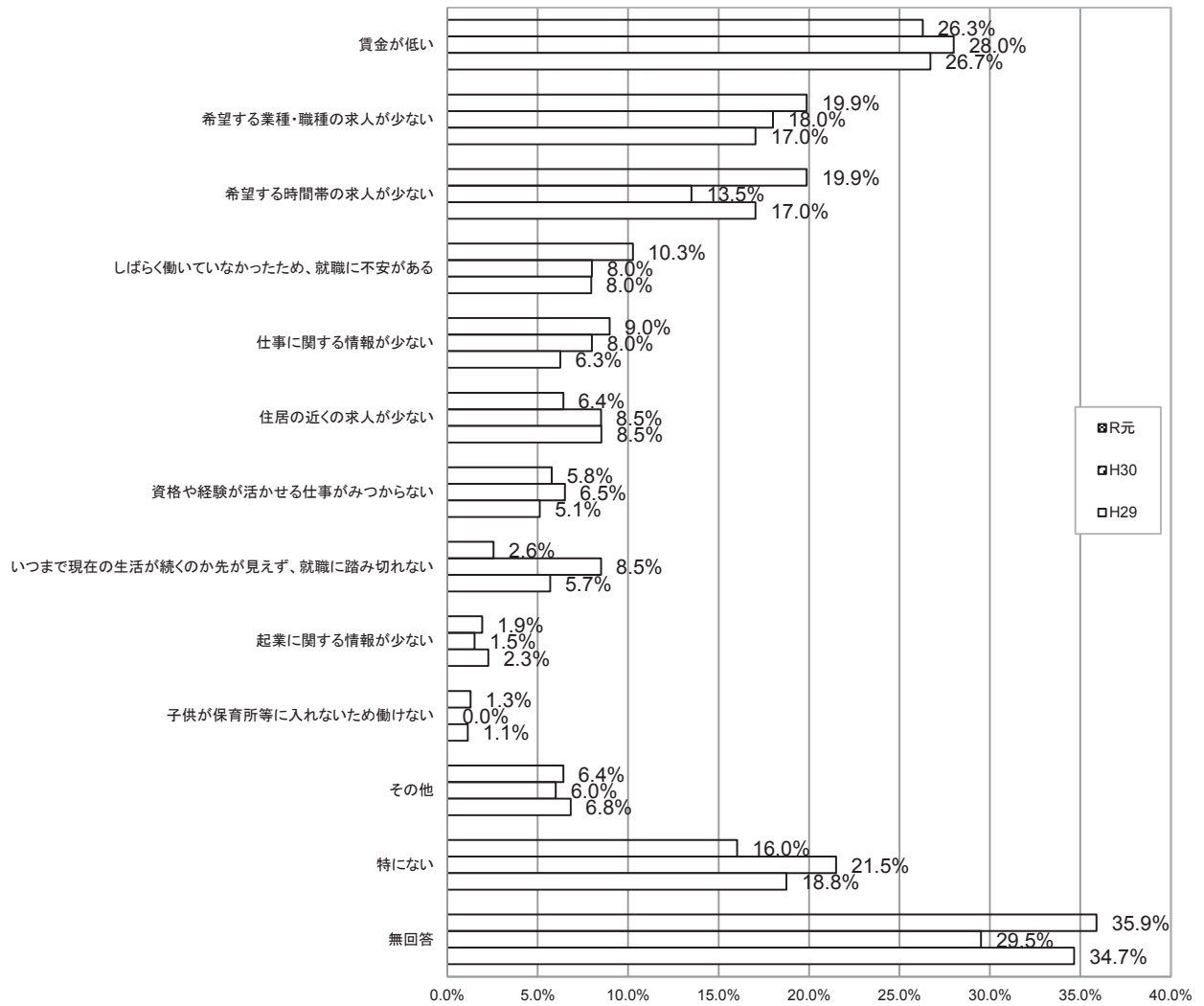
(2) 就職に関する相談窓口について

	知っているか		「知っている」の場合の相談の有無(複数回答)	
	知っている, 42.9%	知っている以 外, 57.1%		
求職者総合支援センター(住まいや生活に関する相談)	知っている, 42.9%	知っている以 外, 57.1%	ない, 100.0%	
トータル・ジョブサポート(生活相談、就職相談、職業紹介)	知っている, 42.9%	知っている以 外, 57.1%	ない, 100.0%	
マザーズジョブサポート(女性の就職に関する相談)	知っている, 42.9%	知っている以 外, 57.1%	ない, 66.7%	必要が無い, 33.3%

「求職者総合支援センター」を知っている方は 42.9%です。また、「トータル・ジョブサポート」、「マザーズジョブサポート」を知っている方も 42.9%となっております。

(3) 県内の就職で困っていることについて

山形県内の就職で困っていること(複数回答)



山形県内の就職で困っていることは、「賃金が低い」が 26.3%と最も多く、次いで「希望する業種・職種の求人が少ない」、「希望する時間帯の求人が少ない」の順となっています。

8 相談支援機関と相談交流について

(1) 相談支援機関の利用状況

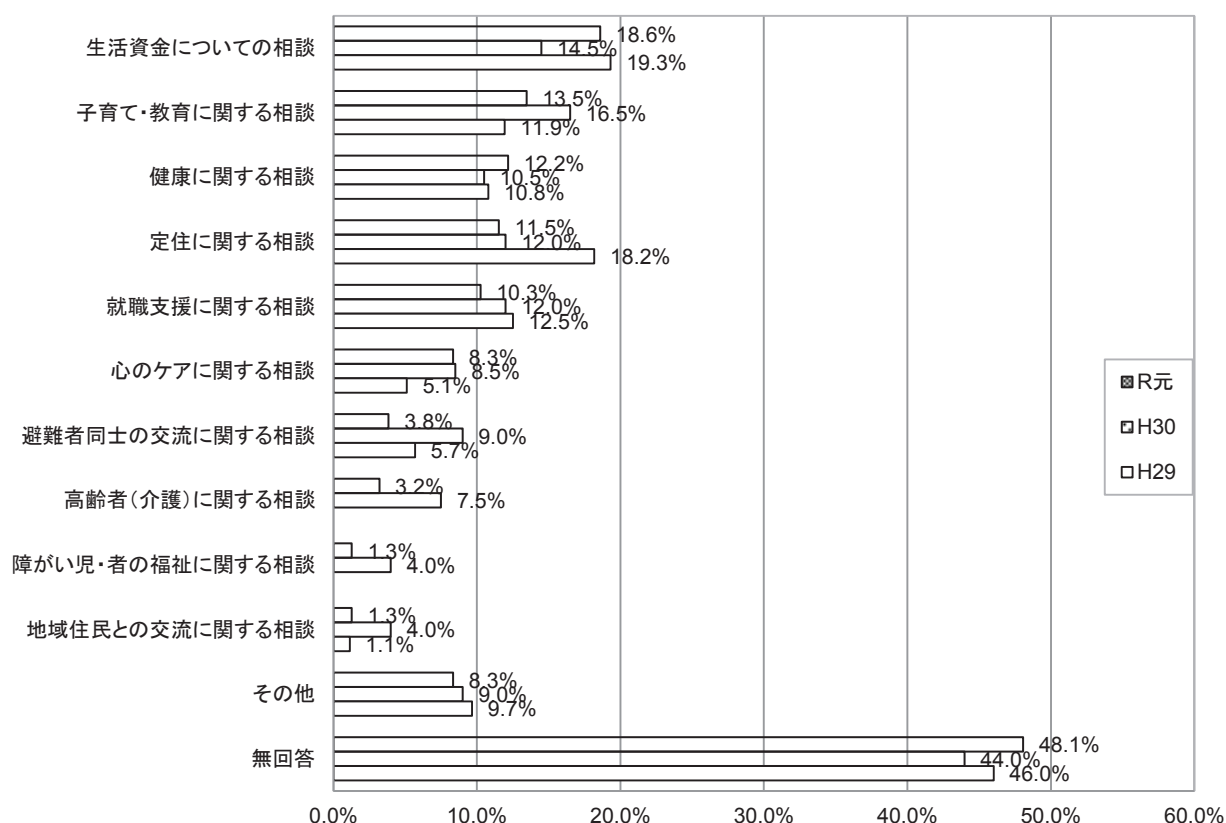
	知っているか		「知っている」の場合の相談の有無(複数回答)			
	知っている	知っている以外	ある	ない	必要が無い	無回答
山形市避難者交流支援センター	知っている, 82.5%		ある, 48.1%	ない, 30.8%		無回答, 7.7%
	知っている以外, 17.5%		必要が無い, 13.5%			
米沢市避難者支援センターおいで	知っている, 68.8%	知っている以外, 31.3%	ある, 36.4%	ない, 27.3%		無回答, 24.2%
			必要が無い, 12.1% その他, 2.9%			
復興ボランティア支援センターやまがた	知っている, 21.8%	知っている以外, 78.2%		ない, 35.3%	必要が無い, 35.3%	無回答, 20.6%
			ある, 8.8% その他, 2.7%			
ここふく@やまがた(NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)	知っている, 23.7%	知っている以外, 76.3%	ある, 16.2%	ない, 40.5%	必要が無い, 27.0%	無回答, 16.2%
			その他, 1.6%			
山形県社会福祉協議会	知っている, 41.0%	知っている以外, 59.0%	ある, 18.8%	ない, 39.1%	必要が無い, 20.3%	無回答, 21.9%
			その他, 2.2%			
市町村社会福祉協議会	知っている, 59.6%	知っている以外, 40.4%	ある, 37.6%	ない, 23.7%		無回答, 21.5%
			必要が無い, 16.1% その他, 1.8%			
市町村	知っている, 35.9%	知っている以外, 64.1%	ある, 17.9%	ない, 33.9%	必要が無い, 30.4%	無回答, 17.9%
			その他, 2.8%			
地域包括支援センター	知っている, 23.1%	知っている以外, 76.9%		ない, 38.9%	必要が無い, 30.6%	無回答, 22.2%
			ある, 5.6%			
民生委員児童委員	知っている, 39.7%	知っている以外, 60.3%	ある, 16.1%	ない, 51.6%	必要が無い, 22.6%	無回答, 11.3%
			その他, 2.6%			
NPO法人山形育児サークルランド	知っている, 25.0%	知っている以外, 75.0%	ある, 28.2%	ない, 33.3%	必要が無い, 25.6%	無回答, 15.4%
			その他, 2.9%			
NPO法人山形絆の架け橋ネットワーク		知っている以外, 77.6%	ある, 25.7%	ない, 40.0%	必要が無い, 22.9%	無回答, 11.4%
	知っている, 22.4%					
その他		知っている以外, 99.4%	ある, 100.0%			
	知っている, 0.6%					

村山地域では、「山形市避難者交流支援センター」を知っている方が82.5%、置賜地域では、「米沢市避難者支援センターおいで」を知っている方が68.8%となっています。

市町村社会福祉協議会は、59.6%の方が知っており、そのうち37.6%の方が相談したことがあると答えています。

※「山形市避難者交流支援センター」の母数は村山地域、「米沢市避難者支援センターおいで」の母数は置賜地域

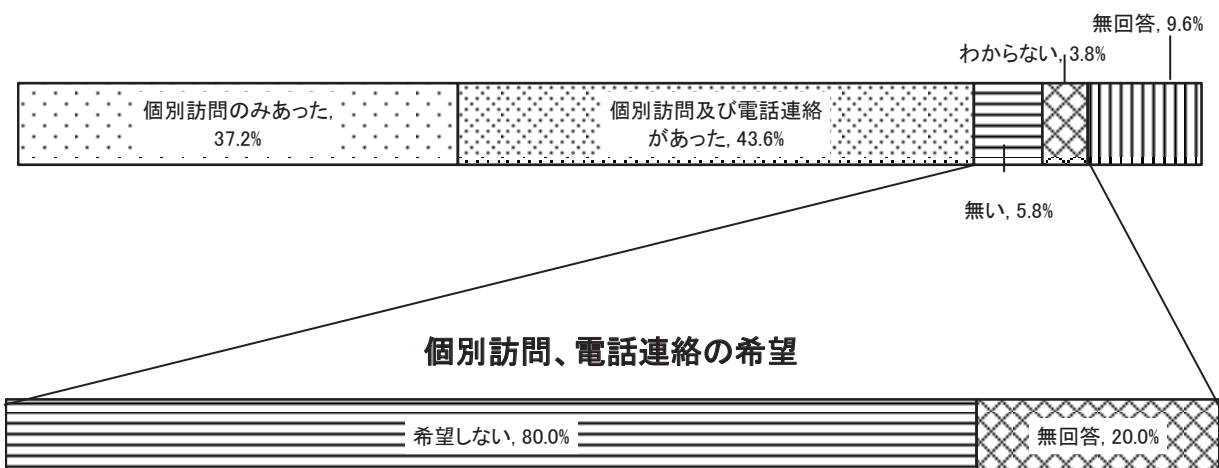
相談支援機関に対し相談したいこと(複数回答)



相談支援機関に対し相談したいことは、「生活資金についての相談」が18.6%と最も多く、次いで「子育て・教育に関する相談」、「健康に関する相談」「定住に関する相談」の順となっています。

※「高齢者(介護)に関する相談」、「障がい児・者の福祉に関する相談」は平成30年度の新規項目

個別訪問、電話連絡の有無



戸別相談や電話連絡があったと答えた方は全体の80.8%となっています。訪問や連絡が「無い」または「わからない」と答えた方のほとんどは「個別訪問及び電話連絡を希望しない」となっています。

(2) 相談交流の参加状況

相談交流会やサロンなどのイベント参加の有無

参加したことがある, 44.2%	参加したことがない, 40.4%	無回答, 15.4%
------------------	---------------------	------------

相談交流会やサロンなどのイベントに「参加したことがある」が 44.2%、「参加したことがない」が 40.4%と 4 割の方は「参加したことがない」と答えています。

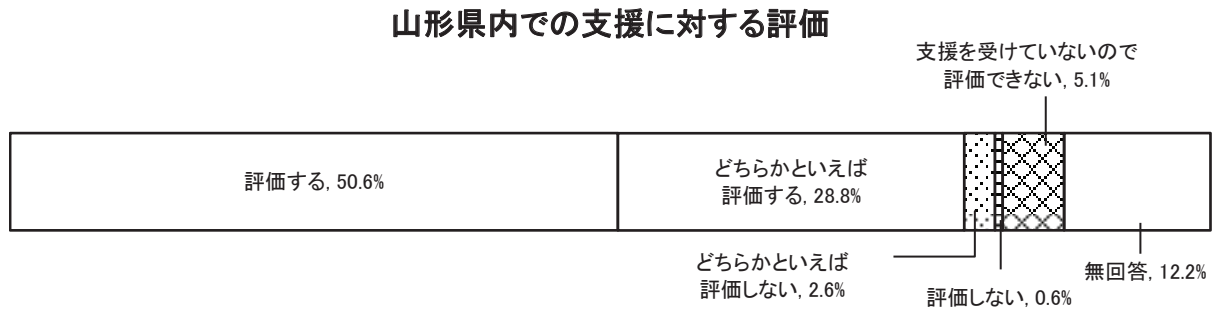
(3) 今後、参加したいイベントや相談交流の場（自由記入）

- ・イモ煮会や花見、もちつきなど。
- ・東日本大震災の追悼式。
- ・資格を取得し、再就職に生かせるような場。
- ・お茶をのみながら話しを出来る場が欲しい。（平日）
- ・臨床心理士さんの心のケア。
- ・日帰り旅行。
- ・心身のいやしと運動、料理など。
- ・他の方々とのつながりよりも、個人的に相談にのって頂ける方が有難い。
- ・小・中学生の子供の親が、子育てや教育などについての相談をしあえる場があるとよい。
- ・毎年、クリスマス会に参加している。今年もあるといいです。
- ・今後も山形県をよく知りたいので、さまざまな県内のイベント交流を期待しています。
- ・今後も今まで通りのイベントを続けて頂きたいと思います。

などの記載がありました。

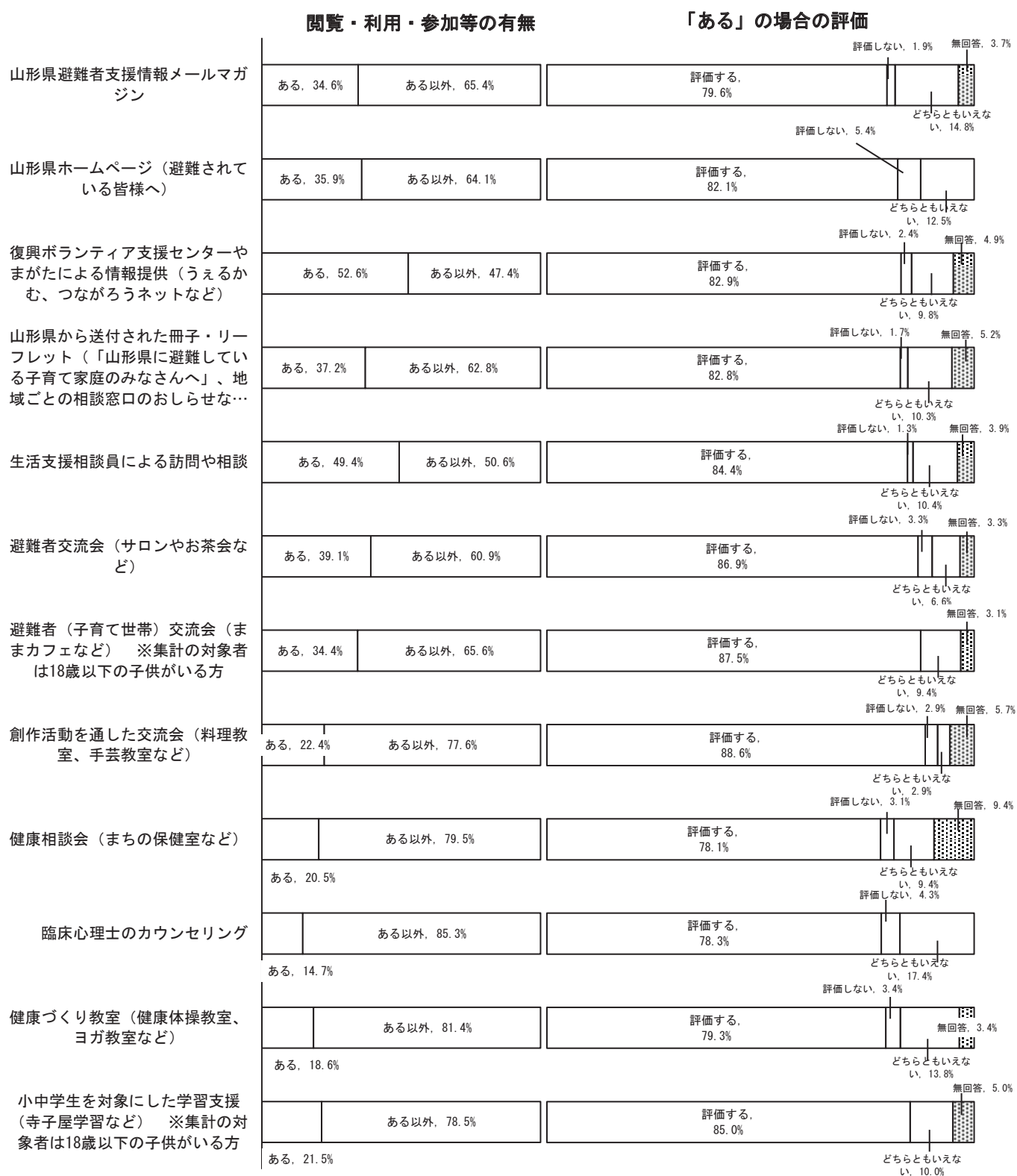
9 県内で行っている避難者支援事業について

(1) 山形県内での支援に対する評価



避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体）についてどのように感じているかの問いに、「評価する」が50.6%、「どちらかといえば評価する」が28.8%と8割近くの方に評価されています。

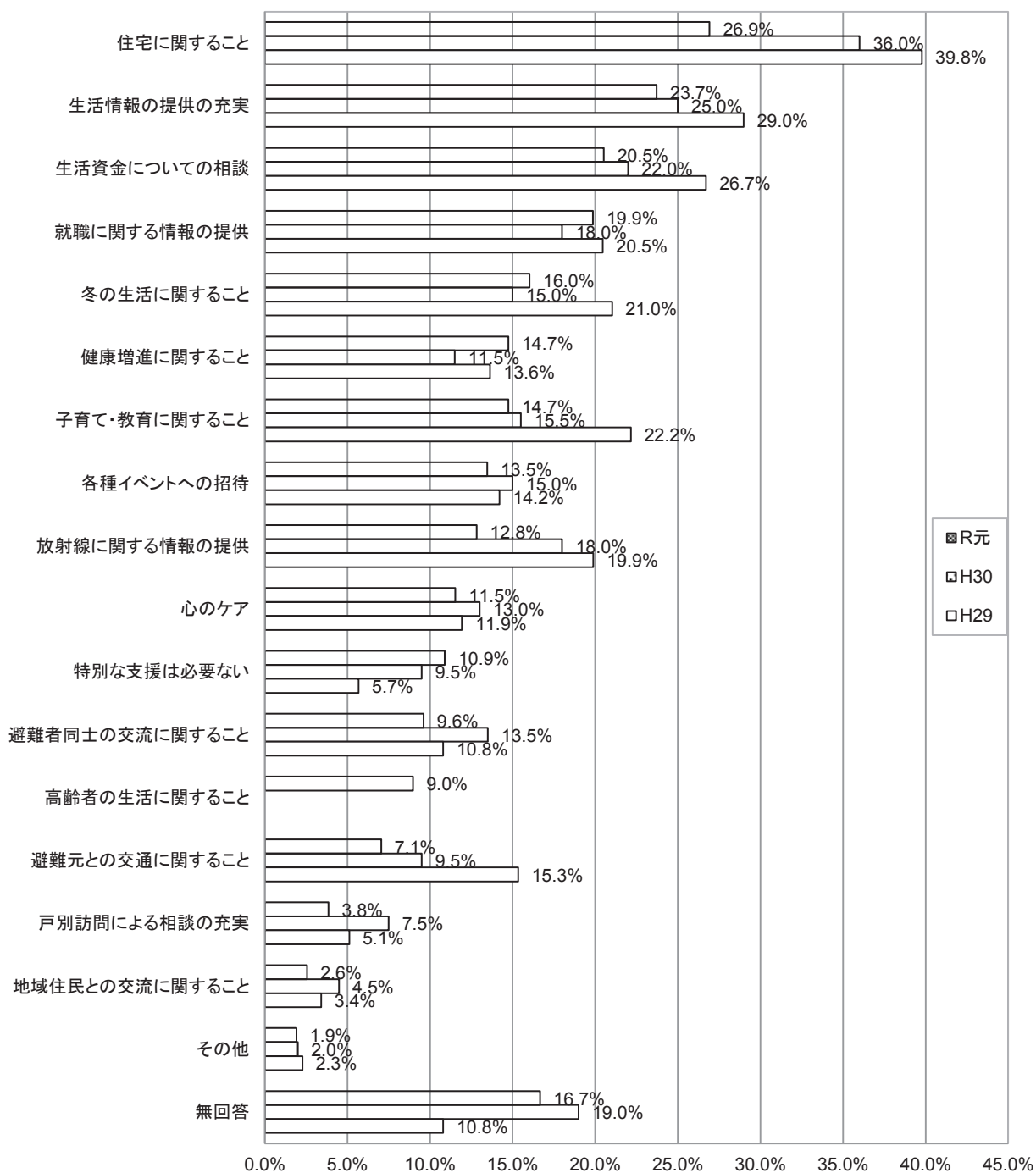
(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について



避難者支援事業別に利用状況を見ると、「復興ボランティア支援センターやまがたによる情報」の閲覧が52.6%と最も多く、次いで、「生活支援相談員による訪問や相談」49.4%、「避難者交流会」39.1%、「山形県から送付された冊子・リーフレット」37.2%の方が利用、参加されており、いずれも8割程度の方が「評価する」と答えています。

(3) 県内での避難者への支援として期待するもの

避難者への支援として期待するもの(複数回答)



山形県内の避難者への支援として期待するものは、「住宅に関すること」が 26.9%と最も多いものの、昨年度より 9.1 ポイント減少しております。

次いで「生活情報の提供の充実」、「生活資金についての相談」の順となっています。

※「高齢者の生活に関すること」は令和元年度の新規項目

(4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入）

- ・定期的に交流会をひらいてほしい。
- ・避難元に帰る際の高速料金やガソリンの補助があると助かります。
- ・今の支援を継続してほしい。
- ・冬雪が降ると、雪かきが大変ですので雪かきを応援して頂けると助かります。
- ・除雪機の貸し出しや、補助を希望します。
- ・起業等の補助金等があれば情報が欲しい。
- ・借上げ住宅に替わる支援事業を望みます。
- ・子どもの甲状腺検査を米沢市内で受診できるようにしてほしい。
- ・山形料理の講習会を開催してほしい。
- ・ふる里にバスで行き、見てみたい。
- ・山形県内の文化にふれてみたい。
- ・それぞれの個人の問題にあった支援がほしい。
- ・震災から時間が経ち悩みも変化している。現状に合ったものに変えてほしい。
- ・就学援助は大変助かっています。今後も継続してほしい。
- ・定住する場合に補助してほしい。

その他、次のような意見がありました。

- ・他県への支援事業実績の広報と交流があればよい。
- ・特になし。
- ・もうそろそろ、自分で前進していかないと、と思います。

10 自由記入欄

(1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・避難者の存在を無視しないでほしい。
- ・交通費の補助があるとうれしいです。
- ・避難元をきちんと生活出来る、安心して住める状態にしてほしい。
- ・放射性物質に対して管理をしっかりして欲しい。
- ・原発のリスク、メリットを示すなど、子供達に客観的な視点で教育すべき。
- ・非常事態宣言が解除されていないのに安心安全と言わないで欲しい。
- ・子どもの健康が心配で避難することの正当性を認めて、住宅支援をして欲しい。
- ・将来の健康が心配なので、原爆手帳のような健康手帳を配布して欲しい。
- ・家賃補助を再開してほしい。
- ・今後も長い目で見守りしてほしいです。

(2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・避難者の存在を無視しないでほしい。
- ・高速道路の無償化を継続して欲しい。
- ・原発再稼働をやめ、自然エネルギーへ切り替えをお願いしたい。
- ・避難者を苦しめているのは、東電と国。責任回避はやめて欲しい。
- ・就学援助を継続してほしい。
- ・東電に心ある対応をするよう指導してほしい。
- ・借上げ住宅にかわる支援を検討して欲しい。
- ・福島県の将来を担う子供達の安全、健康を守ってほしい。
- ・避難生活を余儀なくされている人たちがまだまだたくさんいる事を忘れないでほしい。
- ・住宅の補助が終了し、毎月の生活がますますひっ迫している。支援策を考えてほしい。
- ・原発に関する情報を詳細に伝えてほしい。

(3) その他、避難生活で感じていること

- ・借上げ住宅の供与が終了してからは自立し、避難先の住民として生活しています。
 - ・高齢者世帯の自主避難者だけでも家賃補助を続けられるようにしてほしい。
 - ・生活資金が足りず、そのことで不安になる。
 - ・山形県は三世代同居世帯が多く子育て世帯に対するサービスが少ない。
 - ・ふる里への思いは時が経っても強いものです。行きたい時にお金の心配をしないで行けたら心も軽くなると思います。宿泊費なども含め援助してほしいです。
 - ・相談をしたいが守秘義務が徹底されているか心配だ。
 - ・子どもの将来の健康が心配。
 - ・年金受給にあたって、専門知識のある人との無料相談を受けられると助かります。
 - ・避難元とは、少しずつ心の距離感が大きくなってきていると感じます。
- その他、「山形県にはさまざまな支援をもらって感謝している」との声を、多数いただきました。

2 山形での生活について

問 2-1 今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。最も困っているものから順にお答えください。(5つまで)

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 高齢者の生活のこと
9. 困りごとの相談相手がいないこと
10. 生活に関する情報の入手のこと
11. 避難元の情報が入らないこと
12. 家族、友人など人間関係のこと
13. 山形県での冬(雪)の生活のこと
14. 地域にうまくとけこめないこと
15. 放射線の影響のこと
16. 残してきた家や財産のこと
17. 地元の家族と過ごす時間が少ないこと
18. 避難生活の先行きが見えないこと
19. 地元との交通に関すること
20. 避難先で必要な行政サービスが受けられないこと
(内容:)
21. その他 ()
22. 特になし

問 2-2 世帯の生活資金はどこから得ていますか。(あてはまるもの3つまで回答)

1. 避難している方の給料や賃金
2. 避難元で働いている家族の給料や仕送り
3. 年金
4. 児童手当・児童扶養手当等の各種手当
5. 雇用保険の失業給付等
6. 貯金
7. 生活保護
8. 親戚・知人からの援助
9. 東京電力からの損害賠償金
10. その他(具体的に)

問 2-3 避難者支援に関する情報を何から入手していますか。(複数回答可)

1. 行政機関(県・市町村)からののお知らせ(避難元を含む)
2. 社会福祉協議会(生活支援相談員)からののお知らせ
3. 支援団体等からののお知らせ
4. 避難者支援センターの窓口
5. 携帯電話、スマートフォン、タブレット等
6. パソコン
7. 友人、知人
8. テレビ
9. ラジオ
10. 新聞
11. その他 ()
12. 入手する手段がない

問 2-4 避難者支援に関する情報で希望する内容は何か。(複数回答可)

1. 住宅に関すること
2. 仕事に関すること
3. 健康に関すること
4. 教育や子育てに関すること
5. 高齢者の生活に関すること
6. 交流会に関すること
7. 避難元の復興状況
8. 避難元の行政情報
9. 山形県内の生活情報
10. 山形県内のイベント情報
11. その他 ()

3 今後の生活について

問 3-1 今後の予定についてお答えください。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 避難元の県に戻って生活したい
2. もうしばらく山形県で生活したい
3. 山形県に定住したい
4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい
5. 今後どこで生活するか未定である

問 3-2① 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方にお聞きします。今後山形県内での生活はいつまでと考えていますか。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 避難指示が解除されるまで
2. 除染が終了するまで
3. 放射線の心配がなくなるまで
4. 避難元が復興するまで
5. 避難元の住居が復旧・確保できるまで
6. 避難元で仕事が見つかるまで
7. 借上げ住宅の提供が続く限り
8. 子供の入学、入園や卒業、卒園まで
9. その他 ()
10. わからない、未定

問 3-2② 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「5. 今後どこで生活するか未定である」と答えた方にお聞きします。避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なことは何ですか。(複数回答可)

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 困りごとの相談相手がいないこと
9. 生活に関する情報の入手のこと
10. 避難元の情報が入らないこと
11. 家族、友人など人間関係のこと
12. 地域住民との人間関係のこと
13. 放射線の影響のこと
14. 先行きが見えないこと
15. その他 ()
16. 特にない

問 3-3① 問 3-1 で「2. もうしばらく山形県で生活したい」、「3. 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような理由からですか。(複数回答可)

1. 避難元に近いため
2. 放射線の心配が少ないため
3. 山形県が気に入ったため (内容:)
4. 家族の中に山形県出身者がいるため
5. 親類・知人がいるため
6. 就職したため
7. 子どもが就学したため
8. 知り合いが増えたため
9. その他 ()
10. 特にない

問 3-3② 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」、「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような住居を希望しますか。(最も希望するもの1つ)

1. 持ち家(戸建新築)
2. 持ち家(戸建中古)
3. 持ち家(分譲マンション)
4. 賃貸(戸建)
5. 賃貸(アパート・マンション)
6. 県営住宅
7. 市町村営住宅
8. 旧雇用促進住宅
9. その他()

問 3-3③ 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」、「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、今後どのような支援を希望しますか。(複数回答可)

1. 定住支援策に関する情報提供
2. 定住に関する相談窓口の充実
3. 定住した方との交流会の開催
4. 定住への資金援助
5. 新築・リフォームに関する助成や利子補給
6. 山形県内の住まいに関する情報提供

※必要な情報は何か： **a.** 土地 **b.** 建売住宅 **c.** 中古住宅 **d.** 分譲マンション
e. 賃貸住宅 **f.** 公営住宅(県・市町村営・旧雇用促進住宅等)

7. 地域住民との交流に関する支援
8. 子育てに関する支援
9. 高齢者の生活に関する支援
10. 就職に関する支援
11. 就農に関する支援
12. その他()
13. 特別な支援は必要ない

4 心身の健康について

問 4-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中で、現在、心身の不調がありますか。(複数回答可)

1. 食欲がない
2. 疲れやすく体がだるい
3. よく眠れない
4. 孤独を感じる
5. 飲酒や喫煙の量が増えた
6. 憂うつで気分が沈みがち
7. ささいな音やゆれに反応する
8. 以前楽しめたことが楽しめない
9. イライラする
10. 持病が悪化した
11. 頭痛や胃痛がする
12. その他 ()
13. 特にない

問 4-2 心身の健康について、相談する相手はいますか。(複数回答可)

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない

問 4-3 心身の健康に関して望むことは何ですか。(複数回答可)

1. 心身の健康に役立つ情報がほしい
2. 相談できる場所を知りたい
3. 話を聞いてほしい
4. つらい気持ちを共有できる相談相手がほしい
5. 臨床心理士のカウンセリングを受けたい
6. 生活支援相談員等に訪問してほしい (問 8-3②に連絡先を記入してください)
7. 地域の人とコミュニケーションをとりたい (見守りがほしい)
8. 医療機関の情報がほしい
9. その他 ()
10. 特にない

問 4-4① ご自身や同居のご家族・同居者の中に福祉サービスが必要な方はいますか。

1. いる
2. いない

問 4-4② 問 4-4①で「1. いる」と答えた方にお聞きします。その方は福祉サービスを利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

問 4-4③ 問 4-4①で「1. いる」と答えた方にお聞きします。現在、困っていること、不安に思っていることは何ですか。(複数回答可)

1. 通院が困難
2. 買い物が困難
3. 介護、障がい児・者に関する相談先がわからない
4. 避難先で必要な福祉サービスが受けられない
(内容 :)
5. 避難元の福祉サービスの情報がない
(内容 :)
6. 地域にうまくとけこめない
7. 参加できる交流の場がない
8. その他 ()
9. 特にない

5 教育や子育てについて（18歳以下のお子さんがある世帯の方のみ回答してください）

問 5-1 お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることは何ですか。

（複数回答可）

1. 保育園を希望しているが入園できない（空きがない）
2. 子供の一時預かりをお願いする場所がない（わからない）
3. 子供の心のケアが必要だが、どうしたらよいかわからない
4. 子供に対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう
5. 子供に手をあげそうになる
6. 子供との会話が少なくなってきた
7. 子供を友達と遊ばせたいが相手がない（少ない）
8. 子育て、教育にかかる経済的負担が大きい
9. 家族と離れてくらしていることが子供の成長に影響を与えている
10. 子供が学校や園で仲良くできるか不安だ
11. 子供がいじめられていないか心配だ
12. 学校の勉強についていけるか心配だ
13. 子供の進学や進路が心配だ
14. 子供の発達に不安がある
15. その他（)
16. 特にない

問 5-2 教育や子育てに関して、相談する相手はいますか。（複数回答可）

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない

問 5-3 ご自身が困った時にお子さんを頼める方はいますか。

1. 近くに親族がいる
2. 子供を一時預かりしてくれる場所を利用している
3. 頼める人がいない
4. その他（)

問 5-4 お子さんの教育や子育てに関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 子育てに役立つ情報がほしい
2. 子供の遊び相手がほしい
3. 自分の話し相手や相談相手がほしい
4. 親同士の交流の機会がほしい
5. 子供の発育や健康について相談にのってほしい
6. 保育園や幼稚園の情報がほしい
7. 保育園や幼稚園に入園できるよう相談にのってほしい
8. 子供の定期健診などのサービスを受けやすくしてほしい
9. 子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい
10. その他（)
11. 特にない

6 高齢者の生活について（65歳以上の高齢者がいる世帯の方のみ回答してください）

問 6-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中に、高齢者がいる方にお聞きします。今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。（複数回答可）

1. 介護に関する事
2. 健康に関する事
3. 地域にうまくとけこめない事
4. 高齢者同士の交流の場がない事
5. 通院が困難な事
6. 買い物が困難な事
7. 高齢者に関する相談先がわからない事（介護・医療・高齢者をもつ家族の悩みなど）
8. その他（ ）
9. 特になし

問 6-2 高齢者ご自身の生活や高齢者の介護に関して、相談する相手はいますか。

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がある

問 6-3 高齢者の生活に関して、望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 高齢者の生活に役立つ情報がほしい
2. 高齢者同士の交流に関する情報がほしい
3. 相談できるところを知りたい
4. 話を聞いてほしい
5. 高齢者を持つ家族の悩みを聞いてほしい
6. 生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報がほしい
7. 介護サービスに関する情報がほしい
8. 生活支援相談員等に訪問してほしい→ （問 8-3②に連絡先を記入してください）
9. 地域の人とコミュニケーションをとりたい（見守りがほしい）
10. その他（ ）
11. 特になし

7 就業・就職について

問 7-1① 主に世帯の生計を支えている方の就業形態はどのような状況ですか。

1. 正規雇用 2. 自営・起業 3. 臨時雇用(フルタイム)
4. 臨時雇用(パートタイム) 5. 無職 6. その他 ()

問 7-1② 問 7-1①で「1. 正規雇用」「2. 自営・起業」「3. 臨時雇用(フルタイム)」「4. 臨時雇用(パートタイム)」「6. その他」と答えた方は、転職を希望していますか。

1. 今の仕事でよい
2. 転職を希望している

問 7-1③ 問 7-1②で「2. 転職を希望している」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 正規雇用の職に就きたい
2. 資格を活かしたい
3. 避難元の県に帰りたい
4. 仕事の環境等が合わない
5. その他 ()

問 7-1④ 問 7-1①で「5. 無職」と答えた方は、就職活動をしていますか。

1. 現在、就職活動をしている
2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定
3. 就職活動をする予定はない

問 7-1⑤ 問 7-1④で「1. 現在、就職活動をしている」「2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方は、どのような就業形態を希望していますか。

1. 正規雇用 2. 自営・起業 3. 臨時雇用(フルタイム)
4. 臨時雇用(パートタイム) 5. その他 ()

問 7-1⑥ 問 7-1④で「1. 現在、就職活動をしている」「2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方にお聞きします。次にあげる相談窓口を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。

あてはまる箇所に○をつけてください。(複数回答可)

相談窓口	知っている	→			
		相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	その他
求職者総合支援センター					
トータル・ジョブサポート					
マザーズジョブサポート					

問 7-2 山形県内の就職で困っていることは何ですか。(複数回答可)

1. 仕事に関する情報が少ない
2. 希望する業種・職種の求人が少ない
3. 子供が保育所等に入れられないため働けない
4. 希望する時間帯の求人が少ない
5. いつまで現在の生活が続くのか先が見えず、就職に踏み切れない
6. 資格や経験が活かせる仕事が見つからない
7. 住居の近くの求人が少ない
8. 賃金が低い
9. 起業に関する情報が少ない
10. しばらく働いていなかったため、就職に不安がある
11. その他 ()
12. 特にない

8 相談支援機関と相談交流について

問 8-1 山形県内にはさまざまな相談支援機関があります。

次にあげる相談支援機関を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。

あてはまる箇所には○をつけてください。(複数回答可)

相談支援機関	知っている	相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	その他
山形市避難者交流支援センター					
米沢市避難者支援センターおいで					
復興ボランティア支援センターやまがた					
ここふく@やまがた (NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)					
山形県社会福祉協議会					
市町村社会福祉協議会					
市 町 村					
地域包括支援センター					
民生委員児童委員					
NPO法人やまがた育児サークルランド					
NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク					
その他 ()					

問 8-2 避難者支援に限らず、相談支援機関に相談したいことはありますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 生活資金についての相談 | 2. 定住に関する相談 |
| 3. 就職支援に関する相談 | 4. 子育て・教育に関する相談 |
| 5. 健康に関する相談 | 6. 心のケアに関する相談 |
| 7. 高齢者(介護)に関する相談 | 8. 障がい児・者の福祉に関する相談 |
| 9. 地域住民との交流に関する相談 | 10. 避難者同士の交流に関する相談 |
| 11. その他 () | |

問 8-3① 山形県では、避難されている方の悩みや困りごと相談に対応するため、市町村保健師、社会福祉協議会生活支援相談員及び民生委員児童委員等の個別訪問を実施しております。これまで個別訪問や電話連絡をもらったことはありますか。

- | | | |
|-------------------|--------------|----------|
| 1. 個別訪問のみあった | 2. 電話連絡のみあった | |
| 3. 個別訪問及び電話連絡があった | 4. 無い | 5. わからない |

問 8-3② 問 8-3①で「4. 無い」「5. わからない」と答えた方にお尋ねします。今後、個別訪問や電話連絡を希望されますか。

1. 個別訪問のみ希望する 2. 電話連絡のみ希望する
3. 個別訪問及び電話連絡を希望する 4. 希望しない

※訪問や連絡を希望される方はお名前と連絡先をご記入ください。

お名前	
住所及び電話番号	住 所： 電 話：

問 8-4① 相談支援機関が実施する、地域の相談交流会やサロンなどのイベントに参加したことはありますか。

1. 参加したことがある 2. 参加したことがない

問 8-4② 今後、参加したいイベントや相談交流の場などあればご記入ください。

--

9 県内で行っている避難者支援について

問 9-1 避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じていますか。（最もあてはまるもの1つを回答）

1. 評価する
2. どちらかといえば評価する
3. どちらかといえば評価しない
4. 評価しない
5. 支援を受けていないので評価できない

問 9-2 山形県内では、現在さまざまな避難者支援事業を行っております。

次にあげる主な避難者支援事業について、見たり、利用したり、参加したことがあるものに○をつけ、その評価について、右欄の該当する箇所にも○をつけてください。

事業名	見た、利用した、参加した	評価		
		評価する	評価しない	どちらともいえない
山形県避難者支援情報メールマガジン				
山形県ホームページ（避難されている皆様へ）				
復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）				
山形県から送付された冊子・リーフレット（「山形県に避難している子育て家庭のみなさんへ」、地域ごとの相談窓口のおしらせなど）				
生活支援相談員による訪問や相談				
避難者交流会（サロンやお茶会など）				
避難者（子育て世帯）交流会（ママカフェなど）				
創作活動を通じた交流会（料理教室、手芸教室など）				
健康相談会（まちの保健室など）				
臨床心理士のカウンセリング				
健康づくり教室（健康体操教室、ヨガ教室など）				
小中学生を対象にした学習支援（寺子屋学習など）				

問 9-3 今後、山形県内での避難者への支援として、期待するものをあげてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 生活情報の提供の充実 | 2. 就職に関する情報の提供 |
| 3. 生活資金についての相談 | 4. 住宅に関すること |
| 5. 心のケア | 6. 健康増進に関すること |
| 7. 子育て・教育に関すること | 8. 高齢者の生活に関すること |
| 9. 戸別訪問による相談の充実 | 10. 避難者同士の交流に関すること |
| 11. 地域住民との交流に関すること | 12. 各種イベントへの招待 |
| 13. 放射線に関する情報の提供 | 14. 避難元との交通に関すること |
| 15. 冬の生活に関すること | |
| 16. その他 () | |
| 17. 特別な支援は必要ない | |

問 9-4 今後実施して欲しい避難者支援事業をご記入ください。

■ 自由記入欄

- ・ 避難元に対して山形県から伝えてもらいたいこと

- ・ 政府に対して山形県から伝えてもらいたいこと

- ・ その他、避難生活で感じていることなど

アンケートにご協力いただきありがとうございました

発行元 山形県

山形県防災くらし安心部 防災危機管理課
復興・避難者支援室

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1

電話 023-630-3100